



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

年報 第4号

Annual Report Vol.4
2008-2009

目次

▶ ギャラリー I

002	2008年度	カルロ・ザウリ	イタリア現代陶芸の巨匠
006		創立250周年記念 ウェッジウッド	ーヨーロッパ陶磁器デザインの歴史ー
011		所蔵名品展	ー 日本近代陶芸のあゆみ
013	2009年度	ゆかいなかたち	
015		川喜田半泥子のすべて	

▶ ギャラリー II

020	2008年度	展示室A～D	イタリアの現代陶芸
021		展示室A～C	森正洋展 ーモリセイヨウノデザインー
023		展示室D	スタンダード・ウェア イギリスの食器
024		展示室A～D	大地のこどもたち2008 ーぼくのエネルギーわたしのエネルギーー
025		展示室A～D	タイル きのう・きょう・あした 笠原のモザイクタイルを中心に
028	2009年度	展示室A～D	中山保夫 ー品格の洋食器ー
031		展示室A	加藤孝造展
033		展示室B&D	前衛陶芸家の器
035		展示室C	思春期のカタチ2009 ーワークショップ作品展ー

036	収蔵作品点数年度別一覧
-----	-------------

037	収蔵作品貸出記録
-----	----------

039	08・09年度収蔵品
-----	------------

041	08・09年度収蔵図書
-----	-------------

042	入館者数一覧
-----	--------

043	教育・普及活動
-----	---------

046	館の概要	組織及び構成
-----	------	--------

岐阜県現代陶芸美術館協議会委員

岐阜県現代陶芸美術館収蔵品選定評価委員

職員の静動

活動方針・活動内容

051	施設概要
-----	------

054	施設案内
-----	------

055	交通案内	利用案内
-----	------	------

2008 年度

ギャラリー I 巡回展

カルロ・ザウリ イタリア現代陶芸の巨匠

CARLO ZAULI - A RETROSPECTIVE

会 期：2008年4月19日(土)～6月1日(日)

観覧料：一般 800円、大学生600円、高校生以下無料

主 催：岐阜県現代陶芸美術館、京都国立近代美術館、ファエンツァ市、
エミリア・ロマーニャ州、カルロ・ザウリ美術館、日本経済新聞社

後 援：イタリア文化省、イタリア外務省、イタリア議会下院、ラヴェンナ県、
ラヴェンナ商工会議所、イタリア大使館、イタリア文化会館

協 賛：モカドーロ、GD

協 力：アリタリア航空、オープン・ケア



■内容

現在のヨーロッパ諸国の中でも、造形的で装飾的な陶芸が最も盛んなイタリア陶芸の源流は、遠くエトルリアの壺や皿まで遡り、縄文土器や弥生土器以来の連綿たる歴史と伝統を誇るわが国の陶芸と比較しても、いささかの遜色ありません。また、イタリアの陶芸はテラコッタをはじめ建築と結びつき“空間－建築の内と外”を装飾するために作られ続けて来た歴史もあります。イタリア陶芸の目指す方向は、土による彫刻性と絵画的装飾に造形の可能性を追求するところにあります。

本展覧会は カルロ・ザウリ(1926－2002)の没後初めての大回顧展であり、ザウリが居住しスタジオを構えて制作していたイタリアのファエンツァ市との国際交流展として開催されました。ファエンツァは陶磁器をあらわすファイアンスの語源となった街で、マジョリカで有名な焼きものの街としてとして中世から知られています。また、ザウリは、最も伝統のあるファエンツァ市主催のファエンツァ国際陶芸コンペでグランプリを2度も獲得し、世界的に名声を博しました。さらにイタリアの現代陶芸界の旗手としてニーノ・カルーゾやボンペオ・ピアネッツォーラ、フェデリコ・ボナルディらと共に活躍し、イタリア現代陶芸を世界に知らしめました。その制作は、土の造形素材としての可能性を徹底的に追求しダイナミックな陶による造形作品から、繊細で緻密な建築壁面の仕事まで多様なもので驚かされます。

今回初めてとなる1950年代の初期のマジョリカ作品から高温焼成のいわゆる“ザウリの白”と呼ばれている60～70年代の代表的な作品を中心にザウリ芸術を回顧いたしました。また、タイルのデザイナーとしても多彩な才能で一時代を築き、デザインやリトグラフ、ブロンズなどによる陶以外の仕事でも高く評価されています。本展では陶芸作品のほか、デザインの仕事なども含め紹介いたしました。

本展は、イタリア、ファエンツァ市とカルロ・ザウリ美術館の全面協力のもとに、日伊友好の国際交流展として開催されました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶工房 48号 [展覧会情報／2008年3月1日]

ぴあ 中部版 509号 [展覧会紹介／2008年4月24日]

岐阜新聞 [展覧会解説・岩井学芸員／2008年5月3日、6日、10日]

朝日新聞 [展覧会紹介／2008年5月8日]

朝日新聞 [展覧会評・井上隆生／2008年5月13日]

【新聞】

日経新聞 [展覧会情報／2008年3月31日]

岐阜新聞 [展覧会紹介／2008年4月20日]

中日新聞 [展覧会紹介／2008年5月1日]

【その他】

岐阜放送 [展覧会情報／2008年4月17日]

NHK教育「新日曜美術館アートシーン」 [展覧会情報／2008年5月4日]

■入場者数

3,379人

■関連事業

▶ 講演会「イタリア現代陶芸の素顔-カルロ・ザウリを中心に」

講 師：深見陶治(陶芸家)

渡部誠一(岐阜県現代陶芸美術館副館長)

日 時：5月3日(土・祝日) 午後1時30分～3時

場 所：岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム

入場者数：120人

■印刷物

展覧会図録『カルロ・ザウリ展－イタリア現代陶芸の巨匠』 212頁

編 集：京都国立近代美術館 松原龍一 豊田直香

編集補助：京都国立近代美術館 永田絵里 池澤茉莉

カルロ・ザウリ美術館 マッテオ・ザウリ

ファエンツァ市長室 カーラ・ベネデッティ

印 刷：日本写真印刷株式会社

発 行：日本経済新聞社



■巡回会場

京都国立近代美術館	2007年10月2日-11月11日
岐阜県現代陶芸美術館	2008年4月19日-6月1日
東京国立近代美術館	2008年6月17日-8月3日
山口県立萩美術館・浦上記念館	2008年8月26日-10月26日

■出品リスト

作品番号	作品名	制作年	所蔵
1	皿	1951年	カルロ・ザウリ美術館
2	陶彫	1952年	カルロ・ザウリ美術館
3	壺	1953年	カルロ・ザウリ美術館
4	壺	1953年	ファエンツァ国際陶芸博物館
5	皿	1953/54年	個人蔵
6	壺	1953/54年	個人蔵
7	皿	1953/55年	カルロ・ザウリ美術館
8	壺	1954年	カルロ・ザウリ美術館
9	壺	1954年	カルロ・ザウリ美術館
10	鉢	1954年	個人蔵
11	壺	1954年	個人蔵
12	壺	1954/55年	個人蔵
13	鉢	1955年	カルロ・ザウリ美術館
14	レリーフ	1955/56年	個人蔵
15	皿	1956年	カルロ・ザウリ美術館
16	箱	1956年	カルロ・ザウリ美術館
17	壺	1956年	カルロ・ザウリ美術館
18	壺	1957年	カルロ・ザウリ美術館
19	皿	1957年	個人蔵
20	壺	1958年	カルロ・ザウリ美術館
21	楕円形の皿	1958年	カルロ・ザウリ美術館
22	アザラン	1958年	カルロ・ザウリ美術館
23	壺	1958年	カルロ・ザウリ美術館
24	壺	1958年	ファエンツァ国際陶芸博物館
25	壺	1959年	カルロ・ザウリ美術館
26	壺	1959年	個人蔵
27	壺	1959/60年	カルロ・ザウリ美術館
28	大きい壺	1962年	ファエンツァ国際陶芸博物館
29	小さい壺	1962年	ファエンツァ国際陶芸博物館
30	壺	1962年	カルロ・ザウリ美術館
31	壺	1962/63年	カルロ・ザウリ美術館
32	二重の壺	1964年	カルロ・ザウリ美術館
33	壺	1964年	カルロ・ザウリ美術館
34	陶彫	1965年	カルロ・ザウリ美術館
35	壺	1965年	個人蔵
36	壺	1966年	カルロ・ザウリ美術館
37	壺	1966年	カルロ・ザウリ美術館
38	白い形態	1966年	カルロ・ザウリ美術館
39	幾何学の起源	1966年	カルロ・ザウリ美術館
40	陶彫	1967年	カルロ・ザウリ美術館
41	大きな白い破れた球体	1967/68年	カルロ・ザウリ美術館
42	大きい球体	1967/68年	カルロ・ザウリ美術館
43	陶彫	1968年	カルロ・ザウリ美術館
44	陶彫	1968年頃	京都国立近代美術館
45	球体のふるえ	1968/70年	カルロ・ザウリ美術館
46	翼のある立方体	1970年	カルロ・ザウリ美術館
47	球体	1970年	カルロ・ザウリ美術館
48	球体	1970年	カルロ・ザウリ美術館
49	球体	1970年	カルロ・ザウリ美術館
50	皿	1970/71年	カルロ・ザウリ美術館
51	それは壺だった	1971年	カルロ・ザウリ美術館
52	白い形態	1971年	カルロ・ザウリ美術館
53	原始の起源	1971年	カルロ・ザウリ美術館
54	碑	1971年	カルロ・ザウリ美術館
55	水平なふるえ	1971年	京都国立近代美術館
56	起源	1972年	カルロ・ザウリ美術館
57	幾何学形態	1972年	カルロ・ザウリ美術館
58	起源	1972年	カルロ・ザウリ美術館
59	幾何学形態	1972年	カルロ・ザウリ美術館
60	幾何学的なピラミッド	1972年	カルロ・ザウリ美術館
61	地中海の形態	1972年	カルロ・ザウリ美術館
62	黒い汚染物質	1972年	カルロ・ザウリ美術館
63	碑	1972年	カルロ・ザウリ美術館
64	碑	1972年	カルロ・ザウリ美術館
65	碑	1972年	カルロ・ザウリ美術館
66	金色の塊	1973年	カルロ・ザウリ美術館
67	幾何学の起源	1973年	カルロ・ザウリ美術館
68	幾何学の起源	1973年	カルロ・ザウリ美術館
69	自然のアーチ	1973年	カルロ・ザウリ美術館
70	自然のアーチ	1973年	カルロ・ザウリ美術館
71	碑	1973年	カルロ・ザウリ美術館
72	碑	1973年	カルロ・ザウリ美術館
73	ピラミッド	1973/74年	カルロ・ザウリ美術館

74	円形の活力	1973/74年	カルロ・ザウリ美術館
75	碑	1973/74年	カルロ・ザウリ美術館
76	INの形態	1974年	カルロ・ザウリ美術館
77	INの形態	1974年	カルロ・ザウリ美術館
78	碑	1974年	カルロ・ザウリ美術館
79	碑	1975年	カルロ・ザウリ美術館
80	皿	1975年	カルロ・ザウリ美術館
81	白い形態	1975年	カルロ・ザウリ美術館
82	INの形態	1976年	カルロ・ザウリ美術館
83	翼のある形態	1976年	カルロ・ザウリ美術館
84	歪められた壺	1976年	カルロ・ザウリ美術館
85	白い形態	1976年	カルロ・ザウリ美術館
86	円形の活力	1976年	カルロ・ザウリ美術館
87	円形の活力	1976年	カルロ・ザウリ美術館
88	歪められた皿	1976年	カルロ・ザウリ美術館
89	歪められた皿	1976年	カルロ・ザウリ美術館
90	INの形態	1976年	カルロ・ザウリ美術館
91	破裂した白	1976年	カルロ・ザウリ美術館
92	自然の鼓動	1977年	カルロ・ザウリ美術館
93	歪められた壺	1977年	カルロ・ザウリ美術館
94	歪められた壺	1977年	カルロ・ザウリ美術館
95	歪められた壺	1977年	カルロ・ザウリ美術館
96	球体	1977年	カルロ・ザウリ美術館
97	白い楕円の耕地	1977年	土岐市
98	原始の復活	1977/78年	カルロ・ザウリ美術館
99	原始の復活	1977/78年	カルロ・ザウリ美術館
100	原始の復活	1977/78年	カルロ・ザウリ美術館
101	歪められた塊(レリーフ)	1978年	カルロ・ザウリ美術館
102	歪められた壺	1978年	カルロ・ザウリ美術館
103	歪められた壺	1978年	カルロ・ザウリ美術館
104	形態のうねり	1979年	カルロ・ザウリ美術館
105	歪められた壺	1979年	カルロ・ザウリ美術館
106	黒いうねり	1981年	カルロ・ザウリ美術館
107	球体	1981年	カルロ・ザウリ美術館
108	碑	1982年	カルロ・ザウリ美術館
109	起源	1982年	カルロ・ザウリ美術館
110	レリーフ	1982年	カルロ・ザウリ美術館
111	碑	1982年	カルロ・ザウリ美術館
112	碑	1983年	カルロ・ザウリ美術館
113	それが最初だった	1983年	カルロ・ザウリ美術館
114	碑	1983年	カルロ・ザウリ美術館
115	起源	1984年	カルロ・ザウリ美術館
116	碑	1985年	カルロ・ザウリ美術館
117	碑	1985年	カルロ・ザウリ美術館
118	皿	1985年	カルロ・ザウリ美術館
119	自然	1986年	カルロ・ザウリ美術館
120	シーザー	1986年	カルロ・ザウリ美術館
121	塔	1986年	カルロ・ザウリ美術館
122	ターコイズ色のエロティシズム	1987年	カルロ・ザウリ美術館
123	歪められた欲望	1987年	カルロ・ザウリ美術館
124	歪められた欲望	1987年	カルロ・ザウリ美術館
125	歪められた欲望	1987年	カルロ・ザウリ美術館
126	ターコイズ色のエロティシズム	1987/88年	カルロ・ザウリ美術館
127	原始の起源	1988/89年	カルロ・ザウリ美術館
128	無題	1991年	カルロ・ザウリ美術館
129	無題	1973年	カルロ・ザウリ美術館
130	無題	1973年	カルロ・ザウリ美術館
131	無題	1973年	カルロ・ザウリ美術館
132	無題	1974年	カルロ・ザウリ美術館
133	無題	1974年	カルロ・ザウリ美術館
134	無題	1974年	カルロ・ザウリ美術館
135	無題	1975年	カルロ・ザウリ美術館
136	無題	1983年	カルロ・ザウリ美術館
137	無題	1983年	カルロ・ザウリ美術館
138	無題	1983年	カルロ・ザウリ美術館
139	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
140	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
141	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
142	銅色の格子の型	1962年	カルロ・ザウリ美術館
143	銅色の格子の型	1962年	カルロ・ザウリ美術館
137	無題	1983年	カルロ・ザウリ美術館
138	無題	1983年	カルロ・ザウリ美術館
139	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
140	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
141	無題	1986年	カルロ・ザウリ美術館
142	銅色の格子の型	1962年	カルロ・ザウリ美術館
143	銅色の格子の型	1962年	カルロ・ザウリ美術館
144	タイル	1962年	カルロ・ザウリ美術館
145	タイル1962	1962年	カルロ・ザウリ美術館
146	タイル1962	1962年	カルロ・ザウリ美術館
147	タイル	1962年	カルロ・ザウリ美術館
148	タイル	1965年	カルロ・ザウリ美術館
149	タイル	1965年	カルロ・ザウリ美術館
150	タイル	1970年	カルロ・ザウリ美術館

151	タイル1970	1970年	カルロ・ザウリ美術館
152	タイル	1970年	カルロ・ザウリ美術館
153	タイル	1970年	カルロ・ザウリ美術館
154	タイル	1973年	カルロ・ザウリ美術館
155	タイル	1973年	カルロ・ザウリ美術館
156	タイル	1973年	カルロ・ザウリ美術館
157	タイル	1973年	カルロ・ザウリ美術館
158	タイル	1974年	カルロ・ザウリ美術館
159	タイル	1975年	カルロ・ザウリ美術館
160	茶色の原子	1980年	カルロ・ザウリ美術館
161	クリーム色の原子	1980年	カルロ・ザウリ美術館
162	タイル	1980年	カルロ・ザウリ美術館
163	ラクダ色の原子	1983年	カルロ・ザウリ美術館
164	タイル	1983年	カルロ・ザウリ美術館
165	タイル	1985年	カルロ・ザウリ美術館
166	タイル	1987年	カルロ・ザウリ美術館

2008 年度

ギャラリー I 巡回展

創立250周年記念 ウェッジウッド —ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史—

The design history of Wedgwood for 250 years
-The design exhibition over the one brand's heritage-

会 期：2008年7月19日(土)～9月30日(火)
観覧料：一般1,000円、大学生700円、高校生以下無料
主 催：岐阜県現代陶芸美術館、朝日新聞社
共 催：岐阜新聞・岐阜放送
後 援：外務省、ブリティッシュ・カウンシル
協 力：ウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパン、日本航空



■内容

この年、1759年、英国陶工の父と呼ばれるジョサイア・ウェッジウッド1世がアイヴィー・ハウスとして知られる最初の工場を開設してから250年を迎えました。この展覧会では、ウェッジウッド創立250周年を記念し、同社の名品約250点を紹介しました。

製陶を営む家に生まれたジョサイアは、幼い頃から陶器づくりを学び、やがてウェッジウッド社を設立。試行錯誤の末、類を見ない乳白色のクリームウェアの焼成に成功し、時の英国王妃から「クィーンズウェア」の名称を拝命しました。同時に「王妃御用達の陶工 (Potter to Her Majesty)」の称号を拝命します。その後も彼は「ブラックバサルト」「ジャスパー」など、次々と新しい技法や独自のシリーズを考案し、ヨーロッパ各地の王侯貴族からも高い評価を受けました。その名声は瞬く間に世界中へ広まり、以来現代に至るまで広く愛される名窯の一つとなっています。

本展覧会は、英国ウェッジウッド美術館とウェッジウッド家、英国大使館等が所蔵するコレクションから選りすぐった、ティーウェア、ディナーセットといった食器類の他、壺、甕、香水瓶など、ジョサイア・ウェッジウッドの業績から現代にいたるウェッジウッドの名品250点が一堂に会する機会となりました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

炎芸術 94号 [展覧会紹介／2008年5月1日]
ひととき(JR東海) 76・77号 [展覧会情報、紹介／2008年7月1日]
ぴあ 中部版 516号 [展覧会紹介／2008年7月31日]
カーサブルータス 8月号 [展覧会情報／2008年8月1日]
朝日新聞(英字版:Herald Tribune) No.17,471
[展覧会情報／2008年8月15日]
Art Journal Vol. 57 [展覧会情報／2008年8月20日]

岐阜新聞 [展覧会解説・岩井学芸員／2008年7月15日]

岐阜新聞 [展覧会解説・岩井学芸員／2008年5日、7日、13日、16日、19日]

朝日新聞(岐阜)

[展覧会解説・岩井学芸員／2008年8月22日、23日、24日、25日、26日]

朝日新聞 [展覧会情報、紹介／2008年8月29日]

【その他】

岐阜放送「ランチタイムニュース」

[展覧会紹介・岩井学芸員／2008年7月7日]

名古屋テレビ「旅サラダ」 [展覧会紹介・中村卓夫／2008年7月12日]

岐阜放送「ぎふちゃんワイド」 [展覧会紹介・岩井学芸員／2008年7月29日]

【新聞】

朝日新聞 [展覧会情報、紹介／2008年7月15日]

■入場者数

22,310人

■関連事業

▶ウェッジウッド展開催記念シンポジウム 基調講演「ウェッジウッド芸術の精華」

講 師：ゲイ・ブレイク・ロバーツ(ウェッジウッド美術館長)
シンポジウム「ウェッジウッド家 華麗なる一族」

コーディネーター：岩井美恵子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)

パネリスト：ゲイ・ブレイク・ロバーツ、トーマス・ロウランド・ウェッジウッド(ウェッジウッド・ブランドアンバサダー)

日 時：2008年7月19日 午後1時30分～4時

場 所：セラミックパークMINO国際会議場

入 場 者 数：120人

▶ワークショップ「ウェッジウッドと中村卓夫—素材《ジャスパー》にみる出会いと発見」

講 師：中村卓夫(陶芸家)

日 時：2008年8月9日 午後1時30分～3時

場 所：岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム

参 加 者 数：30名

▶「マグコレ〜オートクチュール」

マグカップのデザインを募集。来館者の投票によって得票数の多かった小中学生部門1点、高校生部門1点について、実際のマグカップに印刷し贈呈した。

投票期間：2008年7月19日～8月20日

展示期間：2008年9月6日～9月30日

応募者数：2,491人(投票620人)

■印刷物

展覧会図録『創立250周年 ウェッジウッドーヨーロッパ陶磁器デザインの歴史』230頁

編集：朝日新聞社 岩井美恵子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)

制作：美術出版デザインセンター

デザイン：川野直樹

発行：朝日新聞社



■巡回会場

岐阜県現代陶芸美術館

2008年7月19日～9月30日

兵庫陶芸美術館

2008年10月8日-2009年1月12日

そごう美術館(横浜)

2009年1月29日-3月1日

静岡アートギャラリー

2009年4月11日-6月21日

山口県立萩美術館・浦上記念美術館

2009年7月4日-8月23日

■出品リスト

第1章初期のウェッジウッド JOSIAH WEDGWOOD

作品番号	作品名	制作年	所蔵
1	陶工用ツール	18世紀後半もしくは19世紀前半	We
2	天秤	19世紀前半	We
3	回転台	18世紀後半-19世紀前半	We
4	ローラー	1765-70年頃	We
5	陶工の道具	18世紀後半または19世紀前半	We
6	ジョサイア・ウェッジウッド1世の胸像	1940年頃	We
7	ポートレート・メダイオン「ジョージスタップス」	1974年	We
8	楕円形飾り板「怯える馬」	1973年	We
9	平皿「ダーウィン・ウォーター・リリー」	1815-20年頃	B
10	高温測定計	18世紀後半	We
11	飾り板	1784-94年	We
12	化学容器	18世紀後半	We
13	るつぼ	1784-94年	We
14	乳鉢と乳棒	18世紀	T
15	クリーム・ウェアの試験片	1760-65年頃	We
16	カップ&ソーサー	1760-65年頃	We
17	初日の壺	1769年	Pr
18	ジャスパーの試験片	1770-74年頃	We
19	メダイオンの試作	1770-74年頃	We
20	飾り板「英国とフランスの手を結ばせるマーキュリー」	1786-87年	N
21	ポートレート・メダイオン「サー・ジョシュア・レノルズ」	1788-1790年	N
22	ポートランドの壺	18世紀後半	Pr
23	ポートランドの壺(ノースウット版)	1877年	We
24	《ポートランドの壺》のための試作	1786-89年	We
25	《ポートランドの壺》の内覧会の招待状	20世紀	We
26	メダイオン「シドニー湾」	18世紀後半	Pr
27	メダイオン「フランス革命」	1789年	N
28	奴隷のメダイオン	20世紀	Pr

第2章「ウェッジウッドと王室」 WEDGWOOD & ROYALTY

作品番号	作品名	制作年	所蔵
29	ディナー用平皿	1770年	We
30	平皿「フロッグ・サービス」	1774年	Pr
31	平皿「フロッグ・サービス」	1774年	Pr
32	スープ皿「フロッグ・サービス」	1774年	Pr
33	ポートレート・メダイオン「ジョージ3世」	1780年以降	N
34	ポートレート・メダイオン「シャーロット王妃」	1780年以降	N
35	オペラ・グラス(単眼鏡)	1785-90年	N
36	ポートレート・メダイオン「ジョージ4世、プリンス・オブ・ウェールズ」	1787年頃	N
37	プリンス・オブ・ウェールズの壺	1795年頃	N
38	ブリタニア・ベース	2002年	Wa
39	平皿	1818年頃	Po
40	皿	1818年頃	Po
41	平皿「コロネーション・サービス」	1937年	We
42	デミタスクーヒー・カップ&ソーサー「コロネーション・サービス」	1937年	T
43	ティー・ポット	1953年	We
44	コロネーション・パンケット・サービス「エリザベス2世女王陛下の戴冠式記念」	1953年	We
45	たばこ入れ	1953年	We
46	星形五角形箱	1953年	We
47	貝殻形箱	1953年	We
48	貯金箱	1969年	We
49	貯金箱	1969年	We

50	平皿	1981年	We
51	「ユーランダー・パウダー・ブルー」シリーズ	2008年	Wa
52	「バグショット」サーヴィス	1999年	We
53	壺	2000年	We
54	マグ「エリザベス2世女王陛下の戴冠式記念」	1953年	We
55	マグ「エリザベス2世女王陛下とエディンバラ公の結婚式記念」	1972年	We
56	マグ「エリザベス2世女王陛下とエディンバラ公の結婚式記念」	1972年	We
57	マグ「エリザベス2世女王陛下の在位25周年祝典記念」	1977年	We
58	マグ「エリザベス2世女王陛下の戴冠25周年記念」	1978年	We
59	マグ「プリンス・オブ・ウェールズの称号授与記念」	1969年	We
60	マグ「アンドリュー王子レディ・サラ・ファーンガソンの結婚記念」	1986年	We
61	マグ「プリンス・オブ・ウェールズの称号授与記念」	1969年	We
62	マグ「エリザベス2世女王陛下60歳の誕生日記念」	1986年	We
63	マグ「プリンス・オブ・ウェールズの称号授与記念」	1969年	We
64	マグ「プリンス・オブ・ウェールズの結婚記念」	1981年	We
65	マグ「プリンス・オブ・ウェールズとレディ・ダイアナ・スペンサーの結婚記念」	1981年	We
66	マグ「アン王女とマーク・フィリップス大尉の結婚記念」	1973年	We
67	マグ「ヨーク公爵位の授与記念」	1986年	We
68	マグ「エリザベス2世女王陛下の在位25周年祝典記念」	1977年	We
69	マグ「プリンス・オブ・ウェールズ夫妻の第一子ウィリアム王子誕生発表記念」	1982年	We
70	マグ「プリンス・オブ・ウェールズ夫妻の第一子ウィリアム王子誕生記念」	1982年	We
71	マグ「プリンス・オブ・ウェールズ夫妻の第二子ヘンリー王子の誕生記念」	1984年	We
72	マグ「プリンス・オブ・ウェールズ夫妻の第二子ヘンリー王子の誕生記念」	1984年	We

第3章:ウェッジウッドのデザイン DESIGN HISTORY

作品番号	作品名	制作年	所蔵
73	ティーポット	1750-60年頃	Po
74	スープ用平皿	1755-60年頃	Po
75	ナイフの柄	1755-60年頃	We
76	ティーポット	1760-65年頃	Po
77	コーヒーポット	1760-65年頃	Po
78	茶入れ	1760-65年頃	Po
79	ティーケトル	1871年	Po
80	「ジャパン模様(17番)」ティーカップ&ソーサー、コーヒーカップ&ソーサー	1810年頃	We
81	「ジャパン模様(8番)」ティーカップ&ソーサー、コーヒーカップ&ソーサー	1810年頃	We
82	ティーカップ、コーヒーカップ、ソーサー	1815-20年	We
83	ティーカップ、コーヒーカップ、ソーサー	1815-20年	We
84	カップ&ソーサー	1815-20年	We
85	カップ&ソーサー	1815-20年	We
86	平皿「ジャパン模様(7番)」	1810年頃	B
87	「ボタニカル」シリーズ	1808-09年頃	B
88	水差し	1810-30年頃	Po
89	砂糖入れ	1810-30年頃	Po
90	鉢	1810-30年	We
91	マグ	1810-30年	We
92	シャーベットカップ	1810年	We
93	壺	1810年	We
94	ティーポット	1810年	We
95	水差し	1810年	We
96	壺	1810年	We
97	壺	1810年	We
98	皿	1810年頃	Po
99	皿	1810年頃	Po
100	平皿	1866年	We
101	平皿	1866年	We
102	ティーカップ&ソーサー、小型平皿	1936-40年	We
103	平皿	1936-40年	We
104	ティーポット	1769年	Po
105	平皿	1770-75年頃	Po
106	ピクルス皿	1775-80年	Po
107	蓋付き壺	1769-80年	N
108	蓋付き壺	1769-80年	N
109	水差し「ステラ・フィッシュテール」	1775-80年頃	N
110	大型マグ	1778年	Po
111	蓋付き鉢	1780-85年	Po
112	ケトル	1780-85年頃	We
113	インク壺	1780-85年頃	We
114	マグ	1795-1800年	N
115	水差し	19世紀前半	Po
116	飾り板	1775-80年	Po
117	飾り板	1780年頃	Po
118	クラテル型壺	19世紀	We
119	「カプリ」サーヴィス	1830年頃	Po
120	球根用鉢	1780-1800年	N
121	壺	1780-1800年	N
122	平皿「幼児のアカデミー」	1785年頃	N
123	壺	1785-90年頃	N
124	ベルト・バックル	1785-90年	N
125	香水瓶	1785-90年	N
126	香水瓶	1785-90年	N
127	香水瓶	1785-90年	N
128	香水瓶	1785-90年	N

129	ボタン(ボタン/コート)	1785-90年/20世紀	N
130	壺	1785-95年	N
131	球根用鉢	1785-1800年頃	N
132	アルガン・ランプの台	1786年頃	N
133	燭台	1787-95年頃	N
134	バックル	1790年頃	N
135	ベルト・バックル	1790年頃	N
136	ヒヤシンス壺	1792年頃	N
137	飾り板「バカス誕生」	1795-1800年頃	N
138	バックル	1795-1800年頃	N
139	燭台	1795-1800年頃	N
140	ハイヒール	1959年	We
141	イヤリング	1785-90年頃	N
142	壺	1930年	We
143	ポートレート・メダイヨン「ジョン・フラックスマン・ジュニア」	1974年	We
144	壺「ホメロスの神格化」	1975年	We
145	チェスの駒	1980年	We
146	化粧用コンパクト	1970年代	T
147	ポートレート・メダイヨン「古代の女性と若者」	1775-80年頃	N
148	メダイヨン「ストロツィ・メドゥーサの横顔」	1775-80年	N
149	メダイヨン「ヴィーナスとキュービッド」	1775-80年	N
150	ポートレート・メダイヨン「ジョーゼフ・ブリーストリ博士」	1779-80年頃	Pr
151	ポートレート・メダイヨン「カルロス・リンネ」	1780-85年頃	N
152	ポートレート・メダイヨン「ダニエル・チャールズ・ソランダー博士」	1780-85年頃	N
153	ポートレート・メダイヨン「キャプテン・ジェームズ・クック」	1784年頃	N
154	ポートレート・メダイヨン「サー・ジョーゼフ・バンクス」	1784年頃	N
155	ポートレート・メダイヨン「サミュエル・モア」	1785年頃	We
156	コーヒーカップ&ソーサー	1933年頃	We
157	ディナー用平皿	1935年	We
158	デザート用平皿	1935年	We
159	付け合わせ用小皿	1935年	We
160	スープ用カップ&ソーサー	1939年	We
161	小型平皿	1939年	We
162	デザート用平皿	1939年	We
163	記念マグ	1940年	We
164	マグ	1942年	We
165	水差し	1950年代	We
166	大型ゴブレット	1930年後半	We
167	マグ「ジョージ6世とエリザベス王妃即位記念」	1937年	We
168	水差し	1950年代	We
169	マグ	1950年代	We
170	平皿「ベルセボネー」	1954年	We
171	平皿「ベルセボネー」	1954年	We
172	野菜入れ「ベルセボネー」	1955年	We
173	デミタスコーヒーカップ&ソーサー「ベルセボネー」	1955年	T
174	チェスの駒	1940年頃	We
175	彫像「フェルディナンド・ザ・ブル」	1941年頃	We
176	彫像「トーマス・ザ・ブル」	1975年	We
177	飾り板	1980年	We
178	飾り板	1980年	We
179	スパイス入れ「デザイン63」	1962年	We
180	ハーブ入れ「デザイン63」	1962年	We
181	スパイス入れ「デザイン63」	1963年	We
182	砂糖入れ「デザイン63」	1964年	We
183	クリーム入れ	1966年	We
184	塩とこしょう入れ「今日のデザイン」	1966-67年	We
185	コーヒーポット「デザイン63」	1970年	We
186	レリーフのある額	1976-77年	We
187	飾り板「無題」	1976-77年	We
188	飾り板「人間の図1」	1976-77年	We
189	飾り板「人間の図4」	1976-77年	We
190	ネックレス	1982年	We
191	ネックレス	1982年	We
192	ネックレス	1982年	We
193	平皿「幾何学的なテーマのヴァリエーション」	1970年	We
194	大型マグ「ケツァロタル」	1987年	We
195	平皿「カルクリウム」	1987年	We
196	平皿「ファビュラ」	1992年	We
197	平皿「シェイプ225番」	1984年	We
198	平皿「シェイプ225番」	1980年代	Pr
199	水差し「シェイプ225番」	1980年代	Pr
200	水差し「シェイプ225番」	1980年代	Pr
201	水差し「シェイプ225番」	1980年代	Pr
202	水差し「シェイプ225番」	1980年代	Pr
203	たばこ入れ「今日のデザイン」	1966年	We
204	壺	1966年	We
205	「グレン・ミスト」シリーズ	2006年	Wa
206	平皿	1966年以降	We
207	カップ&ソーサー「ブラックフルーツ」	1966年以降	We
208	デザート用平皿「ブラックフルーツ」	1966年以降	We
209	サラダ用平皿「ブラックフルーツ」	1966年以降	We
210	付け合わせ用小皿「ブラックフルーツ」	1966年以降	We
211	「キーストーン」シリーズ	1968年以降	We
212	コーヒーポット、平皿「コーンボビー」	1971年	We

213	カップ&ソーサー	1977年	We
214	たばこ入れ	1979年	We
215	ジャバネスク(茶道)	2004年	Wa
216	ジャバネスク(書道)	2004年	Wa
217	ジャバネスク(華道)	2004年	Wa

第4章 食卓のウェッジウッド DEVELOPMENT IN DINING

作品番号	作品名	制作年	所蔵
218	「グリーン・ウォーター・リーフ」サーヴィス	1775年頃	We
219	平皿	1775-80年頃	Po
220	平皿	1790年頃	Po
221	皿	1780年頃	Po
222	平皿	1780年頃	Po
223	栗の美入れ	1775-80年頃	Po
224	カップ&ソーサー	1780年頃	Po
225	水差し	1780-90年頃	Po
226	塩入れ	1785年頃	N
227	ティーポット	1785-90年	N
228	ワインボトルクーラー	1785-90年	N
229	スープ碗	1785-95年	N
230	コーヒーポット	1800年頃	N
231	コーヒーカップ&ソーサー	19世紀前半	N
232	コーヒーカップ&ソーサー	19世紀前半	N
233	コーヒーカップ&ソーサー	19世紀前半	N
234	コーヒーカップ&ソーサー	19世紀前半	N
235	コーヒーカップ&ソーサー	19世紀前半	N
236	コーヒーカップ&ソーサー	1840年頃	N
237	ヴェヨーズ	1872年頃	Po
238	カップ&ソーサー	1880年頃	We
239	ティーポット	1880年頃	Po
240	クリーム入れ	1810年頃	T
241	ティーポット	20世紀前半	We
242	クリーム入れ	20世紀前半	We
243	砂糖入れ	20世紀前半	We
244	ティーポット	20世紀前半	We
245	砂糖入れ	20世紀前半	We
246	ティーセット「サマースカイ」	1950年代	We
247	朝食セット「ハバナ」	1958-65年	We
248	コーヒーサーヴィス「バーラストーングリーン」	1961-66年	We
249	楕円形キャセロールと平皿「ベンニン」	1965年	We
250	平皿「スターリング」	1974-86年	We
251	コーヒーセット「日常の生活」	1980-82年	We
252	平皿「マーガレット・ローズ」	1950年代	T
253	ティーセット「オクタゴナル」	2004年	G
254	ティーセット「カルトゥーシュ」	2004年	G
255	ティーサーヴィス「コーンポピー」(複製版)	2005年	Wa
256	「アストバリーブラック」シリーズ	2008年	Wa

- 所蔵：We=ウェッジウッド美術館／Wedgwood Museum Trust
Po=ポタリズ美術館／The Potteries Museum & Art Gallery
N=ノッティンガム城美術館／Nottingham Castle Museum & Art Gallery
Pr=個人蔵／Private Collection
- T=トーマス・ロウランド・ウェッジウッド (Thomas Rowland Wedgwood)
B=駐日英国大使館／British Embassy in Japan
Wa=ウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパン／Waterford Wedgwood Japan Limited
G=岐阜県現代陶芸美術館／Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

2008 年度

ギャラリー I 自主企画展

所蔵名品展 ―日本近代陶芸のあゆみ

Masterpieces from Permanent Collection in the Footstep of Japanese Modern Ceramic Art

会 期：2008年10月11日(土)～2009年6月28日(日)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料
※11月3日(月・祝)文化の日は無料開放
主 催：岐阜県現代陶芸美術館



■内容

当館コレクションの作品により、陶芸における器の表現に着目して明治時代以降の展開を追いました。暮らしの器からオブジェまでと大きな広がりを見せる現在のやきものの世界において、やきものの素材・手法を表現の形の一つに「用」を離れた作品が生まれたことは、その過程の動向として重要です。しかしながら一方で、「器」「花器」「壺」など、やきものならではの「用」ある形に自身の表現を重ねて追求する作品は今日も作り続けられています。

本展では、この「用」ある形、すなわち器の形のなかに込められた表現に注目し、計99点（展示替え含む）の作品を紹介しました。

なお、本展の内容、出品作品を軸に姫路市立美術館で「岐阜県現代陶芸美術館所蔵 日本近代陶芸のあゆみ」展（会期2010年4月24日～6月20日、主催姫路市立美術館、岐阜県現代陶芸美術館、読売新聞大阪本社）が開催され、図録も発行されました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】
オレンジページ [美術館紹介、展覧会情報／2008年11月17日]
Precious [美術館、展覧会紹介／2009年6月1日]
集 41号 [展覧会情報／2009年6月1日]

福井新聞 [展覧会情報／2009年4月10日]
毎日新聞 [展覧会情報／2009年4月20日]

【新聞】
中日新聞 [展覧会紹介／2008年10月28日]
岐阜新聞 [展覧会解説・佐野学芸員／2009年2月11日]
日経新聞(夕刊) [展覧会評・山脇佐江子／2009年4月2日]

【その他】
岐阜放送 ランチタイムニュース [展覧会紹介・佐野学芸員／2008年11月10日]
岐阜放送 ハートフルラジオ [展覧会紹介・佐野学芸員／2008年11月27日]
東海ラジオ放送 [展覧会紹介／2008年12月5日]

■関連事業

▶館長によるギャラリートーク
日 時：10月12日 午後1時30分～
参加者数：20名

▶親と子のやきもの鑑賞会 館長といっしょに見る「所蔵名品展」
日 時：11月3日 午後1時30分～2時30分
参加者数：25名

■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	加藤五輔	染付花鳥図花瓶	1890年頃	岐阜県現代陶芸美術館
2	初代宮川香山	浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	明治時代前期(19C後半)	岐阜県現代陶芸美術館
3	加藤友太郎	釉下彩菖蒲鯉図花瓶	明治時代後期	岐阜県現代陶芸美術館
4	瓢池園	上絵金彩山水図皿	1881年	岐阜県現代陶芸美術館
5	香蘭社	色絵黒外濃花鳥文沈香壺	明治時代前期(19C後半)	岐阜県現代陶芸美術館
6	精磁会社	染付上絵桐鳳凰文透彫大香炉	明治時代前期	岐阜県現代陶芸美術館
7	深川製磁	釉下彩上絵陽刻紫陽花図大花瓶	明治時代後期	岐阜県現代陶芸美術館
8	板谷波山	彩磁延年花瓶	1921年	個人蔵(寄託)
9	富本憲吉	鉄絵竹月夜図角皿	1920-30年代	岐阜県現代陶芸美術館
10	富本憲吉	白磁大壺	1941年	岐阜県現代陶芸美術館
11	富本憲吉	色絵金銀彩四弁花模様節壺	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
12	荒川豊蔵	志野水指	1938-41年	岐阜県現代陶芸美術館
13	荒川豊蔵	絵志野茶碗	1965年	岐阜県現代陶芸美術館
14	荒川豊蔵	黄瀬戸茶碗	1968年	個人蔵(寄託)
15	荒川豊蔵	瀬戸黒茶碗	不詳	個人蔵
16	金重陶陽	砧形花入	1956-57年	岐阜県現代陶芸美術館
17	河井寛次郎	花絵扁壺	1957年頃	岐阜県現代陶芸美術館
18	河井寛次郎	三色扁壺	1963年	岐阜県現代陶芸美術館

19	河井寛次郎	碧釉貼文手壺	1965年	岐阜県現代陶芸美術館
20	五代加藤幸兵衛	萌黄金彩水指	1960年以降	岐阜県現代陶芸美術館
21	五代加藤幸兵衛	萌黄金彩瓢壺	1960年以降	岐阜県現代陶芸美術館
22	濱田庄司	柿釉丸紋鉄絵大鉢	1960年代	岐阜県現代陶芸美術館
23	濱田庄司	琉球赤絵泰文面取壺	1960年代後半	岐阜県現代陶芸美術館
24	濱田庄司	黒釉錆流描角皿	1970年頃	岐阜県現代陶芸美術館
25	三輪休和	風月	不詳	岐阜県現代陶芸美術館
26	三輪休和	窈窕	不詳	岐阜県現代陶芸美術館
27	加藤土師明	黄地紅彩蜂葡萄文角皿	1954年頃	岐阜県現代陶芸美術館
28	三輪壽雪	萩面トリ花入	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
29	三輪壽雪	鬼萩 作品	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
30	三輪壽雪	萩菱形水指	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
31	塚本快示	白瓷輪花鉢	1977-80年頃	岐阜県現代陶芸美術館
32	加藤卓男	青釉銀華紐飾花瓶	1972年頃	個人蔵 ◆
33	加藤卓男	青釉銀華「碑文」	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
34	加藤卓男	藍彩四方花器	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
35	加藤卓男	ラスター彩 鶏冠壺	不詳	個人蔵
36	岡部嶺男	青織部大鉢	1965年頃	個人蔵(寄託)
37	岡部嶺男	鮑釉瓶子	1967年	個人蔵(寄託)
38	岡部嶺男	絵志野茶碗	1959年頃	個人蔵(寄託)
39	岡部嶺男	青織部茶碗	不詳	個人蔵(寄託)
40	岡部嶺男	青磁鼎	1968年	個人蔵(寄託)
41	岡部嶺男	古瀬戸灰釉縄文瓶	1968年頃	個人蔵(寄託)
42	岡部嶺男	粉青磁站	1968年頃	個人蔵(寄託)
43	岡部嶺男	窯変米色瓷博山炉	1973年	個人蔵(寄託)
44	河本五郎	灰釉青彩鳥文壺	1967年	岐阜県現代陶芸美術館◇
45	河本五郎	陶方壺	1967年頃	岐阜県現代陶芸美術館◇
46	河本五郎	色絵銀彩陶笛	不詳	岐阜県現代陶芸美術館
47	藤平伸	灰釉壺	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
48	藤平伸	呉須花文壺	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
49	藤平伸	辰砂師笛	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
50	清水卯一	蓬萊磁堆線壺	1982-83年	岐阜県現代陶芸美術館
51	清水卯一	蓬萊掛分壺「春夏秋冬」	1993-96年	岐阜県現代陶芸美術館
52	清水卯一	蓬萊波扁壺	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
53	井上萬二	白磁面取壺	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
54	加守田章二	灰釉大鉢	1966年頃	岐阜県現代陶芸美術館
55	加守田章二	曲線文扁壺	1970年	岐阜県現代陶芸美術館
56	加守田章二	彩色角壺	1972年	岐阜県現代陶芸美術館
57	加守田章二	壺	1980年	岐阜県現代陶芸美術館
58	徳田八十吉	燿彩 壺	1992年	個人蔵
59	徳田八十吉	燿彩輪華文鉢	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
60	若尾利貞	嵐志野組皿	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
61	鈴木藏	志野茶碗	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
62	鈴木藏	志野大皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
63	森野泰明	黒鉄緑彩文扁壺	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
64	森野泰明	黒鉄波文扁壺	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
65	柳原睦夫	ギン・オリベ嬉遊文壺	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
66	柳原睦夫	平成・アオイドの器	2006年	岐阜県現代陶芸美術館
67	加藤孝造	瀬戸黒茶碗	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
68	加藤孝造	志野叩き扁壺	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
69	安藤日出武	黄瀬戸茶碗	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
70	安藤日出武	黄瀬戸大壺	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
71	原田拾六	備前花入 空	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
72	原田拾六	備前茶碗	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
73	栗木達介	銀彩文盤	1982年	岐阜県現代陶芸美術館
74	岡田裕	白釉窯変壺	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
75	岡田裕	白釉炎彩花器	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
76	木村芳郎	碧釉棗壺	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
77	木村芳郎	碧釉蓮文器	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
78	三輪栄造	白萩窯変面取花入	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
79	三輪栄造	金銀彩水指	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
80	三輪栄造	萩掛分茶碗	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
81	三輪栄造	白萩茶碗	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
82	安食ひろ	粉引塩釉盤 鉢の子	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
83	安食ひろ	蓼沙羅 塩釉盤	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
84	島田文雄	彩磁山法師文大皿	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
85	島田文雄	彩磁山法師文面取大壺	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
86	十五代樂吉左衛門	焼貫黒茶碗「層氷峨峨」	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
87	三輪和彦	白い夢	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
88	三輪和彦	花冠	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
89	兼田昌尚	98-6	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
90	兼田昌尚	98-7	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
91	久保田厚子	青白磁花文大皿(フリージア)	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
92	前田昭博	白瓷捻面取壺	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
93	八木明	キャビア鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
94	八木明	染付鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
95	八木明	青白磁鑄大鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
96	三原研	妬器花器	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
97	三原研	妬器花器	2006年	岐阜県現代陶芸美術館
98	三原研	妬器花器	2006年	岐阜県現代陶芸美術館
99	加藤委	無題	2002年	岐阜県現代陶芸美術館

※展示期間：◇2008.10.11～2009.3.15 ◆2009.3.17～6.28

2009 年度

ギャラリー I 自主企画展

ゆかいなかたち

Finding Your Favorite Form

会 期：2009年7月11日(土)～9月23日(水・祝)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料
主 催：岐阜県現代陶芸美術館



■内容

現代の陶芸作品の中には、用途をもつつわばかりではなく、土の可塑性を生かして自由で豊かな表現を試み、興味深い形を見いだして作られた作品があります。人間や自然そして人工物などをモチーフにした作品や、硬さや柔らかさを感じるようなオブジェ、うつわの名をもちながら使い方に困ってしまうような形の作品など、いろいろな形の作品が生み出されてきました。土が作家の手によって、見るものを楽しませる形、時には考えさせる形へと変化しています。

本展では、収蔵品の中から、楽しく豊かな表現の作品を展示し、現代陶芸に親しんでいただくために、その多様な表現を「ゆかいなかたち」と題して紹介しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】
陶工房 53号 [展覧会情報／2009年6月1日]
日経interesse 161号 [展覧会情報／2009年8月16日]
季刊つくる陶磁郎 48号 [展覧会情報／2009年8月25日]

中日新聞(岐阜) [展覧会紹介／2009年7月12日]
岐阜新聞 [展覧会解説・小栗課長補佐／2009年7月14日]
岐阜新聞(岐阜総合) [展覧会紹介／2009年8月16日]

【新聞】
朝日新聞(夕刊) [展覧会紹介／2009年7月24日] [展覧会紹介・小栗課長補佐／2009年7月21日]
岐阜放送「東濃リレーインタビュー」

■関連事業

▶ワークショップ「水辺の森の生きものたち」
講 師：磯崎道佳(美術家)
日 時：2009年8月16日(日) 午前10時～午後4時30分
会 場：岐阜県現代陶芸美術館(ギャラリーI、プロジェクトルーム)
セラミックパークMINO(カスケード広場)
参加者数：31名

■出品リスト

うつわ				
作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	アラビア(デザイン/カティトウオミネン=ニイットゥラ)	ストーリーボード ピッチャー	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
2	アンガス・サティ	カップとスタンド	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
3	アンガス・サティ	水差し	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
4	井戸真伸	oshquom	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
5	内田ゆかり	類	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
6	大山茂樹	パーティープレート	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
7	勝間田千恵子	無題	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
8	川上智子	花のうつわ	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
9	斎木俊秀	三つ足(フラワーベース)	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
10	周 邦玲	月光の下、平和を語る	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
11	周 邦玲	思想の毒に書いたもの	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
12	滝口和男	無題	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
13	森正洋	ファンシーカップ	1969年	岐阜県現代陶芸美術館
14	柳原睦夫	金銀彩花瓶2	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
15	ルース・ダックワース	壺	1967年	岐阜県現代陶芸美術館
16	マリア・ボフィル	無題	1991年、1992年、1993年、1994年、1996年	岐阜県現代陶芸美術館
17	柴田真理子	青い机上の静物	1996年	岐阜県現代陶芸美術館

からだ				
作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
18	アルド・ロンティーニ	赤い服の女	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
19	ヴィルマ・ヴィリヤベルデ	体操選手	2000年	岐阜県現代陶芸美術館

20	鶴頭みどり	9個の標本物	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
21	熊倉順吉	道化の草-2-	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
22	熊倉順吉	人物	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
23	グスレル=ガルツイ=マリア	庭のドラマ	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
24	サンドロ=ロレンツィーニ	他者、同一者	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
25	中村信喬	南蛮夢想	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
26	林茂樹	Q.P	2006年	岐阜県現代陶芸美術館
27	結城美栄子	Tomorrow	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
28	ヨハンナ=ヒッツラー	お嬢さん	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
29	リチャード=ノトキン	ピラミッド型頭蓋骨のティーポット	1994年	個人蔵(寄託)
30	ルディ=オーティオ	タイムピース	1994年	岐阜県現代陶芸美術館

しぜんくらし

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
31	荒木高子	類虎の聖書	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
32	アレクサンダー=リヒトフェルト	無題	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
33	川崎毅	街	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
34	グレース=ニッケル	無題	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
35	小塩薫	痕跡からの結晶-today's diary -	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
36	小塩薫	白いかばん	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
37	小塩薫	痕跡からの結晶-泡の靴	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
38	小松誠	クリンクルシリーズ「ス・バ・-バ・ッ」1978」	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
39	小松誠	クリンクルシリーズ「ス・バ・-バ・ッ」1988」	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
40	小松誠	クリンクルシリーズ「ス・バ・-バ・ッ」1997」	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
41	小松誠	クリンクルシリーズ「タンブラー-J」	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
42	杉浦康益	陶による岩の群	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
43	杉浦康益	陶による岩の群	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
44	杉浦康益	陶による岩の群	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
45	須藤永子	海底遺跡	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
46	セルジオ=グリオリ	グループ	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
47	田島悦子	cornucopia 99-IX	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
48	ニコル=リスター	包装紙	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
49	星野暁	凍雲	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
50	松田百合子	西瓜水瓶	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
51	松田百合子	瓢箪花生	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
52	三島喜美代	WORK-96A	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
53	リチャード=ノトキン	冷却炉	1983年	個人蔵(寄託)
54	リチャード=ノトキン	道端	1987年	個人蔵(寄託)
55	杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間 (ヒマワリの朽ちた殻)	2007年	個人蔵(寄託)
56	杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間 (ヒマワリの種子)	2007年	個人蔵(寄託)
57	杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間 (ヒマワリの花)	2007年	個人蔵(寄託)

はてな

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
58	秋山陽	境界・系II	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
59	板橋廣美	白の連想	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
60	金子彌	無題1995	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
61	カルロ=ザウリ	白い官能	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
62	重松あゆみ	Fresh-eating Plant	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
63	武田武人	「柱状列石シリーズ」より	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
64	坪井明日香	女のおしゃべり	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
65	トルビヨルン=クヴァスボー	フォーム	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
66	中島晴美	苦悶する形態	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
67	ポーラ=バスティアンセン	ポーセリン オブジェクト	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
68	吉川周而	もりあがるⅢ	2007年	岐阜県現代陶芸美術館
69	吉川周而	のめずりこむ	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
70	ワウター=ダム	イエロー=シェイプ	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
71	加藤洋二	六地藏	1992年	岐阜県現代陶芸美術館

2009 年度

ギャラリー I 巡回展

川喜田半泥子のすべて

Everything About Kawakita Handeishi

会 期：2009年10月3日(土)～12月23日(水・祝)
 観 覧 料：一般800円、大学生600円、高校生以下無料
 ※11月3日(月・祝)文化の日は無料開放
 主 催：岐阜県現代陶芸美術館 石水博物館 朝日新聞社
 共 催：岐阜新聞・岐阜放送
 企画協力：耕人社



■内容

近代陶芸史に大きな足跡を残した川喜田半泥子（本名・久太夫政令）の陶芸、書画のほか、建築、写真、俳句や資料などにもふれて半泥子の芸術の全貌に迫りました。

三重県津市の素封家で、東京・大伝馬町に寛永年間から続く木綿問屋の家に生まれた半泥子は、家業を継ぎ、百五銀行頭取や数々の企業の実業につき財界で活躍する一方、陶芸、日本画、書、木版画、建築、油彩画、写真、パステル画、俳句などにその芸術的才能を発揮しました。とりわけ50歳を超えて本格化した作陶は破格で、趣味の粋をはるかに超えて、当時の沈滞していた陶芸界に革新的な息吹を吹き込みます。そして交流を重ねた荒川豊蔵や金重陶陽、三輪休和、三輪壽雪らをはじめ、若き陶芸家たちにも深い影響を与えて、昭和の陶芸復興の礎ともなりました。

半泥子は文化事業の優れたパトロン顔も持ち、私財を投じて三重県下初の総合文化施設である財団法人石水会館を創設しています。本展は半泥子の没後、同財団を母体に、遺族からの寄贈を受けて昭和50（1975）年から登録博物館として活動を始めた石水博物館の全面的な協力を得て開催しました。

あくまで素人として作陶活動を行い続けた半泥子の作品は、幅広い交友関係に贈られ、愛蔵されてきました。それゆえにその名声に比して、まとまって作品を鑑賞する機会には恵まれてきませんでした。本展では231点（展示替え含む）により半泥子の生み出した芸術の世界を多方面から紹介しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

集 42号 [展覧会紹介／2009年9月1日]
 ぴあ 中部版 545号 [展覧会紹介／2009年9月24日]
 書道界 10号 [展覧会紹介／2009年10月15日]
 陶説 680号 [展覧会紹介・榎本館長／2009年11月1日]
 680号 [展覧会解説・紹介・鈴木皓詞／2009年11月1日]
 680号 [展覧会解説・紹介・龍泉寺由佳／2009年11月1日]
 芸術新潮 720号 [展覧会紹介／2009年12月25日]
 陶説 682号 [展覧会評・井上隆生／2010年1月1日]
 芸術批評誌 リア 23号 [展覧会評・外館和子／2010年3月31日]

朝日新聞(岐阜) [展覧会解説・佐野学芸員／2009年11月4日]
 朝日新聞(岐阜) [展覧会解説・佐野学芸員／2009年11月6日]
 岐阜新聞 [展覧会解説・佐野学芸員／2009年11月6日]
 朝日新聞(岐阜) [展覧会解説・毛利伊知郎／2009年11月8日]
 岐阜新聞 [展覧会解説・佐野学芸員／2009年11月14日、21日、24日、27日、12月2日]
 朝日新聞(夕刊) [展覧会紹介／2009年11月14日]
 朝日新聞(夕刊) [展覧会紹介／2009年11月20日]
 中日新聞(東濃版) [展覧会紹介／2009年12月1日]

【その他】

岐阜放送「東濃リレーインタビュー」 [展覧会紹介・佐野学芸員／2009年9月29日]
 NHK教育「新日曜美術館 アートシーン」 [展覧会情報／2009年12月6日]

■入場者数

12,732人

■関連事業

▶シンポジウム「川喜田半泥子とその交友関係」(東洋陶磁学会・西日本地区研究会)
 内 容：「川喜田半泥子」(財団法人石水会館石水博物館学芸員 龍泉寺由佳)
 「小山富士夫」(岐阜県現代陶芸美術館学芸員 佐野素子)
 「荒川豊蔵」(財団法人豊蔵資料館学芸員 加藤桂子)
 「金重陶陽」(吉兆庵美術館顧問 上西節雄)
 「三輪休和・三輪壽雪」(山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長 石崎泰之)
 日 時：2009年10月10日 午後1時～
 場 所：セラミックパークMINO 1階イベントホール
 主 催：岐阜県現代陶芸美術館、東洋陶磁学会
 入場者数：70人

▶ 記念呈茶会「半泥子の茶碗で楽しむ」(先着順限定100名様)

日 時：2009年11月3日 午前11時～午後3時
場 所：セラミックパークMINO茶室
料 金：500円
協 力：表千家紅谷社中 石水博物館
使 用 作 品：巽井戸茶碗 銘「おぼろ」 広永窯、雲鶴手茶碗 銘「千歳の縁」 広永窯、井戸手茶碗 銘「みぎわ」 千歳山窯、
(呈茶、茶室内飾り) 志野茶碗 銘「ふところ子」 広永窯、灰釉茶碗 銘「喜び」 広永窯、刷毛目茶碗 銘「鮑」 広永窯、
唐津茶碗 千歳山窯または唐津の窯、赤絵茶碗 千歳山窯、朝鮮土平茶碗 千歳山窯、刷毛目茶碗 朝鮮の窯か、
クズヤ香合 広永窯、葡萄図(紙本墨画)、以上すべて川喜田半泥子作、石水博物館蔵。
「風月」三輪休和(十代三輪休雪)作、砧形花入 金重陶陽作、志野水指 荒川豊蔵、以上 岐阜県現代陶芸美術館蔵。
参 加 者 数：100名

■印刷物

展覧会図録『川喜田半泥子のすべて』296頁

編 集：朝日新聞社事業本部名古屋企画事業チーム 榎本徹 佐野素子 石崎泰之 毛利伊知郎
龍泉寺由佳 渡辺弓雄

デザイン：大向デザイン事務所(大向務、坂本佳子、市川真莉子)

撮 影：便利堂

印 刷：野崎印刷紙業株式会社

制 作：耕人社、野崎印刷紙業株式会社

発 行：朝日新聞社

鑑賞ワークシート「川喜田半泥子のすべて」展

■巡回会場

松屋銀座 2009年12月30日-2010年1月18日
そごう美術館 2010年2月11日-3月22日
山口県立萩美術館・浦上記念館 2010年4月3日-5月30日
三重県立美術館 2010年6月8日-7月25日

■出品リスト

作品番号	作品名	窯名	制作年	所蔵
1	唐津手茶碗 銘「初音」	千歳山窯	1925年	石水博物館
2	信楽手茶碗	千歳山窯	1932年	石水博物館
3	灰釉茶碗 銘「菊の香」	千歳山窯	1942頃	個人蔵
4	井戸手茶碗 銘「さみだれ」	千歳山窯	1942年頃	個人蔵
5	黒織部茶碗 銘「富貴」	千歳山窯	1940年頃	個人蔵
6	井戸手茶碗	千歳山窯	1941年頃	個人蔵
7	灰釉茶碗 銘「不動」	千歳山窯	1939年頃	石水博物館
8	鬼板釉茶碗 銘「ヤシノミ」	千歳山窯	1941年頃	個人蔵
9	井戸手茶碗 銘「酒」	千歳山窯	1942年頃	個人蔵
10	染付茶碗 銘「初夏」	千歳山窯	1938年頃	個人蔵
11	井戸手茶碗 銘「寿山」	千歳山窯	1941年頃	石水博物館
12	織部黒茶碗 銘「ヘイナイ」	千歳山窯	1941年頃	個人蔵
13	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	千歳山窯	1941年頃	石水博物館
14	志野茶碗 銘「蛾眉峯」	千歳山窯	1938年頃	個人蔵
15	井戸手茶碗 銘「さざれ石」	千歳山窯	1942年頃	個人蔵
16	井戸手茶碗 銘「大々名」	千歳山窯		個人蔵
17	井戸手茶碗 銘「飲無極」	千歳山窯	1941年頃	個人蔵
18	井戸手茶碗 銘「浮島ヶ原」	広永窯	1953年	個人蔵
19	大侘び茶碗 銘「残月」	広永窯	1949年	個人蔵
20	大侘び茶碗 銘「大吹雪」	広永窯	1949年	個人蔵
21	伊羅保茶碗 銘「ほし柿」	千歳山窯		個人蔵
22	灰釉茶碗 銘「歸雲」			個人蔵
23	灰釉茶碗 銘「夜寒」	広永窯		個人蔵
24	粉引茶碗 銘「ささか」	千歳山窯		個人蔵
25	粉引茶碗 銘「夕立」	広永窯		石水博物館
26	粉引茶碗 銘「雪の囀」	千歳山窯		石水博物館
27	粉引茶碗 銘「わすねな艸」	広永窯	1955年	個人蔵
28	粉引茶碗 銘「わすれ蛤」		1956年以前	個人蔵
29	粉引茶碗 銘「夏ふじ」	広永窯		個人蔵
30	粉引茶碗 銘「寒山」	千歳山窯	1940年頃	個人蔵
31	刷毛目茶碗 銘「福は内」			個人蔵
32	刷毛目茶碗 銘「かりほのいほ」		1957年	個人蔵
33	刷毛目茶碗 銘「天の川」	広永窯		個人蔵
34	刷毛目茶碗 銘「一声」	広永窯		石水博物館
35	刷毛目茶碗 銘「これはこれ」	広永窯		個人蔵
36	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	広永窯		石水博物館
37	御所丸茶碗		1938年	石水博物館
38	御所丸手海老文茶碗	千歳山窯	1939年	個人蔵
39	志野茶碗 銘「赤不動」	広永窯	1949年	東京国立近代美術館
40	志野茶碗 銘「不動」	千歳山窯		石水博物館



41	志野茶碗	銘「松の内」	広永窯	1948年	個人
42	志野茶碗	銘「静どれ」	千歳山窯		個人蔵
43	志野茶碗	銘「窯のさち」	千歳山窯	1941年	個人蔵
44	志野茶碗	銘「大さび」	広永窯		個人蔵
45	志野茶碗	銘「あつ氷」	広永窯		石水博物館
46	志野茶碗	銘「おらが秋」	広永窯		石水博物館
47	志野茶碗				個人蔵
48	鼠志野茶碗	銘「一トめぐり」	広永窯		石水博物館
49	鼠志野茶碗	銘「かま場」			個人蔵
50	織部黒茶碗	銘「暗香」	千歳山窯		個人蔵
51	織部黒茶碗		千歳山窯		表千家蔵
52	黒織部茶碗		千歳山窯		表千家蔵
53	瀬戸黒茶碗	銘「松ヶ根」	千歳山窯	1941年	個人蔵
54	黄瀬戸茶碗				個人蔵
55	飴釉茶碗	銘「ゆかりの松」	松山某楽焼窯	1929年	個人蔵
56	赤楽茶碗	銘「神路山」			個人蔵
57	赤楽大茶碗	銘「聞く恋慕」	広永窯		石水博物館
58	赤楽茶碗	銘「むかし話」	広永窯		個人蔵
59	黒茶碗	銘「みそぎ」			個人蔵
60	黒茶碗	銘「うし」	千歳山窯		個人蔵
61	黒茶碗	銘「文福」			個人蔵
62	黒茶碗	銘「三保の夜」	千歳山窯		石水博物館
63	黒茶碗	銘「伊吹山」	広永窯		個人蔵
64	黒茶碗	銘「有馬山」		1957年	個人蔵
65	黒茶碗	銘「すず虫」			個人蔵
66	唐津手茶碗	銘「薄氷」	千歳山窯	1941年	石水博物館
67	唐津手茶碗	銘「老人星」		1936年頃	個人蔵
68	瀬戸唐津茶碗			1940年頃	個人蔵
69	瀬戸唐津茶碗			1940年頃	個人蔵
70	片身替茶碗	銘「寝物語」			石水博物館
71	片身替茶碗	銘「布袋和尚」	千歳山窯		石水博物館
72	片身替茶碗	銘「九華の里」		1952年以前	財団法人 諸戸会
73	粉引茶碗	銘「寒菊」	千歳山窯		個人蔵
74	粉引茶碗	銘「日本左工門」	千歳山窯		個人蔵
75	粉引茶碗	銘「たつた川」	広永窯		石水博物館
76	灰釉茶碗	銘「都わすれ」			個人蔵
77	灰釉茶碗	銘「由布」	千歳山窯	1944年以前	石水博物館
78	焼締茶碗	銘「沖の石」	広永窯	1948年頃	個人蔵
79	焼締茶碗	銘「かるめ糖」			個人蔵
80	焼締茶碗	銘「猿のしり」			石水博物館
81	呼継茶碗	銘「ねこなんちゅ」	千歳山窯		石水博物館
82	染付茶碗		広永窯		個人蔵
83	赤絵茶碗	銘「おらんだ」			個人蔵
84	赤絵茶碗	銘「花畑」	広永窯		個人蔵
85	赤絵茶碗	銘「時計草」	広永窯		個人蔵
86	赤絵茶碗	銘「小倉山」	千歳山窯		個人蔵
87	伊賀水指	銘「慾袋」	千歳山窯	1940年	石水博物館
88	志野水指		千歳山窯		個人蔵
89	伊賀水指	銘「飛清」			個人蔵
90	伊賀水指	銘「かんじん袋」	広永窯		個人蔵
91	伊賀矢筈口水指	銘「壺々」	千歳山窯		個人蔵
92	灰釉繪れ砂金袋水指	銘「若水」	広永窯	1949年	石水博物館
93	黒釉水指		千歳山窯	1942年以前	個人蔵
94	南蛮水指		千歳山窯	1941年頃	個人蔵
95	大海茶入	銘「有明」	千歳山窯		個人蔵
96	茶入	銘「伊勢みやげ」	千歳山窯		個人蔵
97	耳付茶入		岐阜県可児市大萱・牟田洞窯		石水博物館
98	胴メ手茶入	銘「まろにえ」	岐阜県可児市大萱・牟田洞窯		石水博物館
99	茶入	銘「やせ男」	千歳山窯		個人蔵
100	茶入	銘「淡々」			個人蔵
101	茶入	銘「餘慶」			個人蔵
102	薄茶器	銘「からかさ」			個人蔵
103	薄茶器				石水博物館
104	荀図薄茶器				個人蔵
105	狸香合		広永窯		個人蔵
106	狸香合		広永窯		個人蔵
107	志野宝珠香合				個人蔵
108	赤玉香合		広永窯		個人蔵
109	赤絵香合				個人蔵
110	赤絵香合	銘「仏法僧」			個人蔵
111	四方香合	銘「早春」			個人蔵
112	四方香合・蛙香合		広永窯	1952年	石水博物館
113	雪のくづや香合				石水博物館
114	家形香合				石水博物館
115	香合	銘「番町の家」			石水博物館
116	振出				個人蔵
117	粉引手振出				石水博物館
118	赤絵火入		千歳山窯		個人蔵
119	焼締涼炉				個人蔵
120	備前片口	銘「宝正」	備前・陶陽窯	1940年頃	個人蔵
121	すずき絵角鉢				石水博物館
122	梅画黄角鉢				個人蔵
123	赤絵鉢		広永窯		石水博物館
124	黄瀬戸タンパン小皿		千歳山窯	1938年	石水博物館

◇

125	黄瀬戸魚形向付				個人蔵
126	志野向付	広永窯			石水博物館
127	赤絵花文角蓋物	広永窯			個人蔵
128	文匣				個人蔵
129	焼締德利				個人蔵
130	粉引 手德利				石水博物館
131	赤絵竹文德利				石水博物館
132	志野ぐい呑				個人蔵
133	ぐい呑 銘「蚤の夫婦」	広永窯			個人蔵
134	ぐい呑				石水博物館
135	狛犬	広永窯	1947年		個人蔵
136	茶杓 銘「角兵衛獅子」		1951年		個人蔵
137	茶杓 銘「アコウ」		1940年		個人蔵
138	茶杓 銘「おめでとう」		1955年		個人蔵
139	茶杓 銘「浦の家」		1945年		石水博物館
140	茶杓 銘「乾山」		1941年		石水博物館
141	茶杓 銘「うねうね」				個人蔵
142	竹掛花入 銘「ステレンチョ」		1941年頃		個人蔵
143	竹花入 銘「濡つせ」				個人蔵
144	竹掛花入 銘「みのむし」				石水博物館
145	竹花入 銘「福祿寿」		1954年		個人蔵
146	露芝模様茶臼の盒		1953年		石水博物館
147	野菜絵付角盆				石水博物館

作品番号	作品名	技法・素材	制作年	所蔵	
148	政子遺訓	紙本墨書	1950年	個人蔵	◇
149	去來庵	紙本墨書 双幅		個人蔵	◆
150	無茶	紙本墨書		個人蔵	◇
151	無茶	紙本墨書		個人蔵	◆
152	泥多仏大	紙本墨書		個人蔵	◇
153	雪月花	紙本墨書淡彩	1947年	個人蔵	
154	福	紙本墨書	1958年	個人蔵	◇
155	福は内	紙本墨書		個人蔵	◆
156	波和遊	紙本墨書	1960年頃	石水博物館	
157	大夢出門	絹本墨書	1948年	石水博物館	
158	幽照	紙本墨書	1944年頃	株式会社百五銀行	
159	慶世羅々々	紙本墨書	1957年頃	個人蔵	◆
160	愛夢倶楽通志友	紙本墨書		個人蔵	◇
161	お前百までわしゃいつまでも	紙本墨書	1960年頃	個人蔵	◆
162	秋風のふくまま ろくろ廻るまま	紙本墨書		個人蔵	◇
163	一片白雲山上來	紙本墨書	1949年	個人蔵	◇
164	壺中日月長	紙本墨書		個人蔵	◆
165	仙鶴	紙本墨書		個人蔵	◇
166	無事	紙本墨書		個人蔵	◆
167	俳句短冊	紙本墨書		石水博物館	
168	伊部の印象図	紙本墨画	1940年頃	個人蔵	
169	半泥子自画像	紙本墨画淡彩		個人蔵	
170	泥子百歳図	紙本墨画		個人蔵	
171	病臥図	紙本墨画	1959年頃	個人蔵	
172	半泥子と茶碗図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◇
173	美奈登思家尊図	紙本墨画		個人蔵	◆
174	常識茶会の図	紙本墨画		個人蔵	
175	莫加八笑人図	紙本墨画	1956年	個人蔵	
176	小山富士夫・満岡忠成・松平義明宛書簡	紙本墨書	1938年	個人蔵	
177	茶碗図	紙本墨画淡彩		個人蔵	
178	茶碗図	紙本墨画		個人蔵	
179	竹花入図	紙本墨画		個人蔵	
180	赤絵茶碗図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆
181	銘盤都わすれの記	紙本墨画		個人蔵	
182	田山方南宛書簡	紙本墨書	1949年	個人蔵	
183	千歳山窯場図	紙本墨画	1943年	個人蔵	◇
184	千歳山への道図	紙本墨画		個人蔵	◆
185	千歳山図	紙本墨画	1958年	個人蔵	
186	焼物窯の図	紙本墨画淡彩		個人蔵	
187	寒山拾得図	紙本墨画		個人蔵	◇
188	龍虎図屏風	紙本墨画	1955年	個人蔵	◇
189	蓮の葉仏図	紙本墨画	1959年頃	個人蔵	◆
190	雲龍図	紙本墨画		個人蔵	◇
191	蛙図(半泥子自画像)	紙本墨画		個人蔵	
192	猪図	紙本墨画		桑名市博物館	◇
193	馬図	紙本墨画		個人蔵	◆
194	紙雛図	紙本墨画淡彩	1959年	個人蔵	◇
195	菖蒲太刀図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆
196	鍾馗図	紙本朱墨画		個人蔵	◇
197	虎図	紙本墨画淡彩	1957年頃	個人蔵	◆
198	兎玩具図	紙本墨画淡彩	1951年	石水博物館	◇
199	金魚図	絹本淡彩	1945年	個人蔵	◇
200	重ね餅図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆
201	椿図	紙本墨画淡彩		個人蔵	
202	桃花図	紙本墨画淡彩		個人蔵	
203	桃図	紙本墨画淡彩	1946年	石水博物館	◇
204	百合図	紙本墨画		個人蔵	◆
205	八橋図屏風	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆

206	赤熊図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆
207	ランブ図	紙本墨画淡彩		個人蔵	◆
208	枯木に鳥図	紙本墨画		石水博物館	◇
209	広永絵巻	紙本墨画淡彩	1947～48年	石水博物館	
210	春の旅絵巻	紙本墨画淡彩	1924年	石水博物館	
211	ジャフ旅行図	パステル・紙	1927年	石水博物館	
212	洋行スケッチ帖	紙本墨画淡彩	1923年	石水博物館	
213	自画像	油彩・画布		個人蔵	
214	乾山鳴滝窟閑連図	紙本墨画	1942年	石水博物館	
214-1	乾山製陶場真景図	紙本墨画	1942年	石水博物館	
214-2	乾山窯跡現地図	紙本墨画	1942年	石水博物館	
214-3	法蔵寺山門図	紙本墨画	1942年	石水博物館	
215	半泥子写真作品			石水博物館	
216	半泥子使用印章	木・石他		石水博物館	
217	スケッチ(紅梅閣)	紙本墨画	1930年	個人蔵	
218	スケッチ(はま作 第一回の建物予定図)	紙本墨画		個人蔵	
219	スケッチ(はま作 平面図)	紙本墨画		個人蔵	
220	スケッチ(東京三番町の建物造作)	紙本淡彩		個人蔵	

作品番号	書籍名	著者	発行年	所蔵
221	『唐子の友』	半泥子著	1916年頃	石水博物館
222	『じゃわさらさ』	無茶法師他著	1928年	石水博物館
223	『ちとせ 内観法 大徹禅师略伝』	無茶法師著	1928年	石水博物館
224	『やきもの趣味』『泥仏堂日録』	学芸書院	1935年8月～1937年、以下、『続泥仏堂日録』『続々泥仏堂日録』(～1941年)	石水博物館
225	『じゃわさらさ』(再刊)	無茶法師著	1936年	石水博物館
226	『大伝馬町 附 仕入帳』	紺野浦二著	1936年	石水博物館
227	『乾山異考』	泥佛堂半泥子著	1942年	石水博物館
228	『乾山考』	川喜田久太夫著	1943年	石水博物館
229	『莫迦野盧之記』	川喜田半泥子著	1960年	石水博物館
230	『千歳山半泥子六六名器鑑』	藤本木田編集・発行	1943年	個人蔵
231	『半泥子八十賀百器鑑』	半泥子八十賀百器鑑刊行会編集・発行	1957年	石水博物館

※展示期間：◇2009.10.3～11.15 ◆2009.11.17～12.23

2008 年度

ギャラリーⅡ 展示室 A ～ D

イタリアの現代陶芸

CONTEMPORARY CERAMIC ART IN ITALY

会 期：2008年4月4日(金)～2008年7月6日(日)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料



■内容

本展はカルロ・ザウリ展とほぼ同時期に開催され、イタリア現代陶芸において牽引的存在であったザウリの紹介と併せて、ザウリと共にイタリア現代陶芸の創成と発展に貢献した作家たち、およびザウリ以降の現代陶芸を担う作家たちを紹介しました。

イタリア陶芸史の源流は遠くエトルスク美術などに求められますが、その前史を華やかに飾るのは、中世末よりイタリアで制作された錫釉色絵陶器マヨリカです。ビアンコと呼ばれるほど白く光沢のあるマヨリカの釉は、絵画的表現に優れていましたが、低火度のため磁器より脆いものでした。1950年代半ば以降、ザウリはより堅牢なグレス（ストーンウェア）や高火度釉の研究を始め、そこに多様な形態表現と大規模造形の可能性を見出すことになりました。

やはり同じ頃、「アンフォルメル」（非定形）などの現代芸術の新動向などがファエンツァなどに紹介されており、すでに西リヴィエラのアルビゾーラでは、「スパツィアリズム」（空間主義）を提唱したルーチョ・フォンタナがセラミストとして活動しています。

こうしてイタリア現代陶芸は目覚ましい胎動を始めることになりますが、その最初の世代は、ザウリと同世代の1920年代末から30年代生まれの作家たちでした。その世代には、ローマとその近郊を拠点として活動するニーノ・カルーゾ、バッサーノ・デル・グラッパに居を構えるフェデリコ・ボナルディ、ノーヴェを拠点とするアレッショ・タスカやボンペオ・ピアネッツォーラ、アルビゾーラ・マリナー在住のカルロス・カルレらが含まれます。現在ザウリは没し世代交代が進み、活動の中心は1940年代生まれ以降の作家たち、サヴォーナを拠点として旺盛に活動するサンドロ・ロレンツイーニ、ファエンツァのアルド・ロンティーニやジョバンニ・チマッティらが担うようになってきました。各世代の重要な作家たちを、館蔵品から紹介いたしました。

■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	カルロ・ザウリ	白い官能	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
2	カルロ・ザウリ	耕地	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
3	カルロ・ザウリ	耕地	1976年	個人蔵
4	カルロ・ザウリ	無形態の幾何学	1976年	個人蔵
5	カルロ・ザウリ	破壊された壺No.303	1980年	個人蔵
6	ニーノ・カルーゾ	ヘルマ	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
7	アレッショ・タスカ	裂け目のある大きな球体B	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
8	フェデリコ・ボナルディ	空中のリヴィアタン	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
9	フェデリコ・ボナルディ	母さん	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
10	ボンペオ・ピアネッツォーラ	反復	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
11	ボンペオ・ピアネッツォーラ	青い祭服	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
12	ボンペオ・ピアネッツォーラ	刻印された表面	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
13	カルロス・カルレ	ドルメン	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
14	カルロス・カルレ	陶板	1998年	個人蔵
15	カルロス・カルレ	球体	1998年	個人蔵
16	マウロ・タムビエリ	黄金の夢	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
17	マウロ・タムビエリ	海のかなたからの光	2003年	岐阜県現代陶芸美術館
18	マウロ・タムビエリ	無題	1979年	岐阜県現代陶芸美術館
19	マウロ・タムビエリ	無題	1979年	岐阜県現代陶芸美術館
20	マウロ・タムビエリ	無題	1979年	岐阜県現代陶芸美術館
21	ジョヴァンニ・チマッティ	ヘラにいる風景	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
22	ジョヴァンニ・チマッティ	孤独	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
23	ジョヴァンニ・チマッティ	海辺で君とともに	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
24	アルド・ロンティーニ	赤い服の女	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
25	アルド・ロンティーニ	静かなる英雄	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
26	アルド・ロンティーニ	外套	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
27	アルド・ロンティーニ	風景の中の眼	1979年	岐阜県現代陶芸美術館
28	ロマーノ・マッティーニ	理想都市	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
29	アドリアーノ・ルヴェローネ	無題	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
30	サンドロ・ロレンツイーニ	他者、同一者	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
31	平井智一	女	2007年	個人蔵
32	平井智一	風	2007年	個人蔵
33	平井智一	トスカーナ 晩秋	2004年	個人蔵
34	平井智一	トスカーナ	2007年	個人蔵
35	セルジオ・グリオリ	グループ	1986年	岐阜県現代陶芸美術館

2008 年度

ギャラリーⅡ 展示室 A～C

森正洋展ーモリセイヨウノデザイナー

Masahiro MORI design meets us

会 期：2008年7月19日(土)～10月26日(日)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料



■内容

この展覧会は、第8回国際陶磁器フェスティバルMINOの同時開催企画として、同フェスティバル陶磁器デザイン部門で第1回から第3回まで審査員を務め、その設立にも尽力した森正洋の作品を陳列して、その功績とデザイン理念を振り返り、陶磁器デザインの本質を問い直すものです。

1927年、佐賀県塩田町に生まれた森正洋は、「自分が日常で使用したい器」をテーマとして、様々な日常の器を生み出してきました。土味と呼ばれるものを表面に押し出した器が多く存在する中で、森がデザインした陶磁器は、シンプルで飽きのこないデザインとともに機能性を兼ね備えた器として評価され、110点以上もグッドデザイン賞、いわゆるGマーク選定を受けました。

本展覧会では、初期から晩年にかけての森の作品と、彼の最後の大きな仕事のひとつである無印良品の器を展示しました。さらに、長きにわたり勤務してきた白山陶器の関係者の作品や、当館の収蔵品から森と影響関係にあった海外デザイナーであるスティーグ・リンドベリやカイ・フランク、また彼の指導を受けた作家たちの作品も展示し、森の仕事を多面的に検証しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

なごや咲楽 9月号

[美術館、展覧会紹介・榎本館長／2008年8月25日]

小原流 挿花 10号 [展覧会情報／2008年10月1日]

【新聞】

中日新聞(岐阜総合) [展覧会紹介／2008年7月20日]

朝日新聞 [展覧会紹介／2008年9月9日]

長崎新聞 [展覧会紹介／2008年9月28日]

中日新聞 [展覧会評・大長智広／2008年9月30日]

■関連事業

▶シンポジウム「それぞれの森正洋ー地域メーカー・教育者・デザイナー」

コーディネーター：諸山正則(東京国立近代美術館工芸課主任研究員)

パネリスト：柴木正敏(愛知県立芸術大学教授)

坂本やすき(白山陶器株式会社デザイン室長)

深澤直人(プロダクトデザイナー)

日 時：2008年8月23日(土) 午後2時～4時

場 所：岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム

入 場 者 数：114人

■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	森正洋	立織しようゆさし	1957年	岐阜県現代陶芸美術館
2	森正洋	雀口酒器	1957年	岐阜県現代陶芸美術館
3	森正洋	G型しようゆさし	1958年	岐阜県現代陶芸美術館
4	森正洋	ファンシーカップ	1969年	岐阜県現代陶芸美術館
5	森正洋	G型シリーズ	1969年	岐阜県現代陶芸美術館
6	森正洋	白磁千段シリーズ	1971年	岐阜県現代陶芸美術館
7	森正洋	H型シリーズ	1972年	岐阜県現代陶芸美術館
8	森正洋	M型シリーズ	1973年	
9	森正洋	P型コーヒーマグ	1974年	岐阜県現代陶芸美術館
10	森正洋	B型マグカップ	1974年	岐阜県現代陶芸美術館
11	森正洋	U型コーヒーマグ	1974年	岐阜県現代陶芸美術館
12	森正洋	F型コーヒーマグ	1974年	岐阜県現代陶芸美術館
13	森正洋	カップA	1974年	岐阜県現代陶芸美術館
14	森正洋	カップC	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
15	森正洋	ドレッシングボトル	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
16	森正洋	A型パーティーレイ	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
17	森正洋	マルティ シリーズ	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
18	森正洋	キュービク調味料入れ	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
19	森正洋	ロックカップ	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
20	森正洋	ワインカップ	1978年	岐阜県現代陶芸美術館

21	森正洋	シェルボール	1982年	岐阜県現代陶芸美術館
22	森正洋	シェル皿	1982年	岐阜県現代陶芸美術館
23	森正洋	白磁さざなみシリーズ	1983年	岐阜県現代陶芸美術館
24	森正洋	白磁さざ波L型バーティトレイ	1983年	岐阜県現代陶芸美術館
25	森正洋	菊割土瓶茶器	1983年	岐阜県現代陶芸美術館
26	森正洋	シェル茶器	1983年	岐阜県現代陶芸美術館
27	森正洋	O型バーティトレイ	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
28	森正洋	D型しょうゆさし	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
29	森正洋	E型しょうゆさし	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
30	森正洋	C型しょうゆさし	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
31	森正洋	B型しょうゆさし	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
32	森正洋	A型しょうゆさし	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
33	森正洋	H型調味料入れ	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
34	森正洋	交趾トルコ釉酒器	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
35	森正洋	平型めしわん	1992年	個人蔵(寄託)、岐阜県現代陶芸美術館
36	森正洋	丸型冷酒器	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
37	森正洋	角型冷酒器	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
38	森正洋	バーティトレイ“セラバスグ”	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
39	森正洋	ユニバーサル多用深皿	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
40	森正洋	ポット・蓋付マグカップ	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
41	森正洋	無印良品		
		白磁めし茶碗	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁箸置きC型	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁箸置き型	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁小皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁角皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁角鉢	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁多用鉢	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁浅鉢	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁井	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁ふたつき碗	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁塩入れ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁胡椒入れ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁薬味入れ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁汁差し	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁カップ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁マグカップ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁急須	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁ティーポット	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁煎茶碗	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁長湯呑	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		漆器碗	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ フレート	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ 深皿	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ コーヒーカップ	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ カフェオレカップ	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ ポット	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ シュガーポット	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ クリーマー	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ フラワーベース	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ ラーメン丼	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ ポット	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ カフェオレ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ マグ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ ストレーナー付マグ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ スタッキングカップ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		磁器ベージュ ソーサー	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		ベビー食器磁器ベージュ 手付スープ皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		ベビー食器磁器ベージュ 両手付マグカップ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		ベビー食器磁器ベージュ 丸皿・仕切り付	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁長角皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁正角皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁保存容器	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁片口	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁角盛皿	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁蓋付 茶漬け茶碗	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ カレーバスタ皿	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		ボーンチャイナ スプーン	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁ソーブディッシュ	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁ティスベンサー	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		白磁歯ブラシスタンド	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
		楠木鉢	2004年	岐阜県現代陶芸美術館
42	川村秀樹	インテリア タイル	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
43	栄木正敏	表面張カシリーズ	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
44	黒河兼吉	ユニット照明	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
45	崔宰薫	ザ・ライト・土と光のハーモニー	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
46	井戸真伸	hanahana	2005年	岐阜県現代陶芸美術館
47	阪本やすき	ミストホワイト	2005年	
48	スティーグ・リンデベリ	ベース	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
49	スティーグ・リンデベリ	ボウル	1961年	岐阜県現代陶芸美術館
50	スティーグ・リンデベリ	ディッシュ	1956-57年	岐阜県現代陶芸美術館
51	スティーグ・リンデベリ	ティーポット	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
52	カイ・フランク	ティーマ	1981年	岐阜県現代陶芸美術館

2008 年度

ギャラリーⅡ 展示室D

スタンダード・ウェア イギリスの食器

The Standard Ware: British dishes

会 期：2008年7月19日(土)～10月26日(日)

観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料



■内容

1938年頃、セント・アイヴスのリーチ工房において、バーナード・リーチの息子、デイヴィッド・リーチの提案ではじめられた「スタンダード・ウェア」は、リーチ工房の作品の流通に大きな役割を果たしました。これは、ウェッジウッドに始まるカタログ販売という産業陶磁器の手法を応用したものです。「標準的な食器の形」を定めることによってこれを可能としたリーチ工房は、ウェッジウッドの対極、もう一つのイギリスの顔といえる存在になっていきました。

実際の制作にかかわったのは、工房に滞在して研鑽する学生たちや若き陶芸家たちでした。スタンダード・ウェアは、学生を訓練する基準となり、リーチ工房の基盤を固める手段ともなったのです。このようにカタログに即した製品を作る一方で、彼らは独自の表現も追及しています。

本展覧会では、当時のカタログと実物とを展示しました。そして「スタンダード」を生み出す一方で、それを乗り越えて個性を発揮した作家たちを紹介しました。

■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵	
1	バーナード・リーチ	コーヒーポット	1960年代	岐阜県現代陶芸美術館	※
2	バーナード・リーチ	抜絵巡礼文皿	1970年頃	岐阜県現代陶芸美術館	
3	デイヴィッド・リーチ	大皿	1980年代後半	岐阜県現代陶芸美術館	
4	デイヴィッド・リーチ	急須		岐阜県現代陶芸美術館	※
5	デイヴィッド・リーチ	鉢		岐阜県現代陶芸美術館	※
6	ジャネット・リーチ	黒釉白掛分瓶		財団法人 日登美術館	
7	ウィリアム・マーシャル	鉄絵草文鉢		財団法人 日登美術館	
8	リーチ・ポタリー	スタンダード・ウェア		岐阜県現代陶芸美術館	
		蓋物(青磁)		岐阜県現代陶芸美術館	
		ジャム・ポット(オーク・リーフ)		岐阜県現代陶芸美術館	
		塩入れ		岐阜県現代陶芸美術館	
		蓋付カセロール		岐阜県現代陶芸美術館	
		タンカード(青)		岐阜県現代陶芸美術館	
		タンカード(茶)		岐阜県現代陶芸美術館	
		タンカード(白)		岐阜県現代陶芸美術館	
		コーヒー・ジャグ (無釉)		岐阜県現代陶芸美術館	
		はちみつ酒カップ(4点組)		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 1		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 2		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 3		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 4		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 5		岐阜県現代陶芸美術館	
		エッグベーカー 6		岐阜県現代陶芸美術館	
		注瓶		岐阜県現代陶芸美術館	
		カセロール		岐阜県現代陶芸美術館	
		ワイン・ジャグ		岐阜県現代陶芸美術館	
		蓋付カセロール		岐阜県現代陶芸美術館	
		スーパボウル		岐阜県現代陶芸美術館	
		コーヒー・ジャグ(施釉)		岐阜県現代陶芸美術館	
		アッシュトレイ		岐阜県現代陶芸美術館	
		Zボウル(ラージ)		岐阜県現代陶芸美術館	
		ディッシュ(4点組) 木製スタンド付き		ギャラリーセントアイヴス	
9	リーチ・ポタリー	スタンダード・ウェア・カタログ	1954年、72～73年、75年	岐阜県現代陶芸美術館	
10	ジョン・リーチ	ナマコ釉扁壺		財団法人 日登美術館	
11	ジョン・リーチ	大鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館	※
12	ジョン・ベディング	扁壺	2008年	ギャラリーセントアイヴス	
13	ジェイソン・ウェイソン	黒と金の壺	2008年	ギャラリーセントアイヴス	
14	リサ・ハモンド	中世風水差し(丹、青)	2008年		

※は寄贈：黒木登志夫（前岐阜大学学長）

2008 年度

ギャラリーⅡ 展示室 A～D

大地のこどもたち

ーぼくのエネルギーわたしのエネルギーー

The young on the terra

会 期：2008年11月15日(土)～12月14日(日)



■内容

当館の展示室に、小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒の作品があふれる特別展『大地のこどもたち』を開催しました。2005年に引き続き2回目の開催です。

これまで当館では、こどもたちを対象にした事業を積極的に推進し、ワークショップを毎年実施することや、学校との連携を大切にしてきました。

展示作品の選定・構成では、学校の授業の中から生まれた作品とするため、岐阜県下の学校へ参加を呼びかけ、応募した学校のこどもたちの学びの姿が共鳴する空間作りをねらいました。さらに、収蔵作家と出会い、作家とともに作品鑑賞・作品制作を行う、当館のワークショップ（2008年7月27日～28日 講師：森野彰人）で誕生した作品もすべて展示いたしました。

展覧会実施にあたっては、美術館職員と学校の教員・生徒が力を結集して展覧会実施をめざし、何度も打ち合わせを行うなどして、連携を深めることを大切にしました。

このように、美術館と学校とが、互いの特徴を生かし合ったつながりをつくることをねらい、「ぼくのエネルギーわたしのエネルギー」を作品の共通テーマとして、この展覧会を実施しました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【新聞】

中日新聞 [展覧会紹介／2008年11月16日]

岐阜新聞 [展覧会紹介／2008年11月18日]

【その他】

岐阜放送「ランチタイムニュース」

[展覧会紹介・佐野学芸員／2008年11月10日]

岐阜放送「ハートフルラジオ」

[展覧会紹介・佐野学芸員／2008年11月27日]

■参加校 総出品点数：903点 総勢1,127名参加

・岐阜市立藍川中学校	30名	・多治見市立小泉中学校	38名	・恵那市立東野小学校	9名
・岐阜市立東長良中学校	6名	・多治見市立多治見中学校	87名	・恵那市立明智小学校	20名
・羽島市立福寿小学校	21名	・多治見市立笠原中学校	35名	・恵那市立恵那西中学校	27名
・羽島市立中島小学校	2名	・土岐市立土岐津中学校	185名	・中津川市立第二中学校	28名
・美濃市立上牧小学校	54名	・土岐市立泉中学校	23名	・中津川市立坂本中学校	6名
・郡上市立和良小学校	54名	・瑞浪市立瑞浪小学校	80名	・岐阜県立岐阜盲学校	5名
・郡上市立西和良中学校	5名	・瑞浪市立明世小学校	32名	・岐阜県立鸛学校	52名
・郡上市立和良中学校	5名	・瑞浪市立稲津小学校	40名	・岐阜県立東濃支援学校	3名
・郡上市立八幡西中学校	5名	・瑞浪市立日吉小学校	123名	・関特別支援学校	20名
・多治見市立脇之島小学校	35名	・瑞浪市立釜戸小学校	12名		
・多治見市立陶都中学校	51名	・瑞浪市立釜戸中学校	41名		

■出品リスト

森野彰人教室

作品番号	作品名	学校名	学年
1	しましま不思議な卵	多治見市立南ヶ丘中学校	1年
2	いろんな形が集まったタマゴ	多治見市立南ヶ丘中学校	1年
3	デビルチャージ	多治見市立南ヶ丘中学校	2年
4	不思議なエッグ	多治見市立南ヶ丘中学校	3年
5	エッフェル塔卵	多治見市立南ヶ丘中学校	3年
6	おかしいなまご	土岐市立泉中学校	2年
7	夢	多治見市立北陵中学校	2年
8	不思議卵	多治見市立北陵中学校	2年
9	コンクリートの割れ目から芽吹くゼンマイ	東邦高等学校	1年
10	卵の呼吸	岐阜東高等学校	1年
11	未完卵	岐阜県立多治見工業高等学校	1年
12	たまごの中の自然世界	岐阜県立多治見工業高等学校	2年
13	小自然	岐阜県立多治見工業高等学校	2年

2008 年度

ギャラリーⅡ 展示室 A～D

タイル きのう・きょう・あした 笠原のモザイクタイルを中心に

Tiles: Yesterday, Today and Tomorrow -Featuring Mosaic Tiles from Kasahara-

会 期：2008年12月13日(火・祝)～2009年3月28日(土)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料



■内容

タイルの歴史は古く、古代文明の時代にまでさかのぼれますが、美濃には美濃の豊かなタイルの歴史がありました。仏教建築の装飾として日本に伝わった敷き瓦もタイルの一種と考えるなら、禅宗様タイルの最古の例が春日井市の定光寺源敬公廟にあります。その後、茶道具としての敷き瓦が美濃や終わりで生産され、幕末から明治にかけては瀬戸で始まった「本業敷瓦」が流行します。一方、明治時代に始まったモザイクタイルの生産は、昭和30年代に飛躍的に発展しました。その時に多くのタイル製造業者が設立されたのが、笠原でした。

本展覧会では、笠原町の有志がモザイク浪漫館に収集・保管してきた多量のサンプルや関連資料に基づき、様々なタイルの姿を紹介しました。さらに現代作家の作品や、ワークショップを通して、アートとしての美濃焼タイルの可能性をさぐりました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

日経interesse 152号 [展覧会情報]
TILES タイルの本 12号 [展覧会紹介／2008年12月15日]
旅 981号 [展覧会情報／2009年2月20日]
陶説 672号 [展覧会評(山崎暢子作品)・井上隆生／2009年3月1日]

【新聞】

中部経済新聞 [展覧会紹介2008年12月23日]
岐阜新聞 県内総合 [展覧会紹介／2008年12月24日]
中日新聞 [展覧会紹介／2008年12月24日]
毎日新聞 [展覧会紹介／2008年12月24日]
朝日新聞 [展覧会紹介／2008年12月29日]
中日新聞 [展覧会評・大長智広／2009年2月24日]

■関連事業

▶講演会「建築探偵のタイル観察」

講 師：藤森照信(東京大学生産技術研究所教授、建築家)
日 時：2009年2月7日(土) 午後2時～3時30分
会 場：岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム
入場者数：140人

▶ワークショップ「野点」

講 師：きむらとしろうじんじん(アーティスト)
日 時：2009年3月21日(土) 午前11時～日暮れまで
会 場：モザイク浪漫館(多治見市笠原町向島)
参加者数：50名(スタッフ20名)

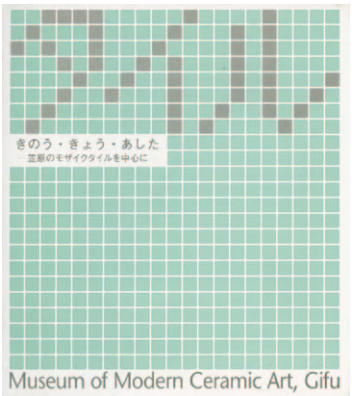
▶ワークショップ「タイルバリ」～タイルを車に貼ろう～

期 間：2008年12月13日(火・祝)～2009年3月28日(土)
会 場：岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーⅡ展示室A
参 加 者：来館者が随時参加

■印刷物

展覧会リーフレット

編 集：岐阜県現代陶芸美術館 村山閑
寄 稿：多治見市陶磁器意匠研究所 立花昭
制 作：西濃印刷



■出品リスト

作品番号	作品名	作者名	制作年	所蔵
1	かまど		1935年頃	モザイク浪漫館
2	調理台付き流し		1960年頃	モザイク浪漫館
3	風呂桶		1960年頃	モザイク浪漫館
4	円形テーブル		1960年頃	モザイク浪漫館
5	円形二段テーブル		1960年頃	モザイク浪漫館
6	テーブル台		1960年頃	モザイク浪漫館
7	テーブル台		1960年頃	モザイク浪漫館
8	お盆用皿	三Kタイル 中島正	1960年頃	モザイク浪漫館
9	果物皿	三Kタイル 中島正	1962年頃	モザイク浪漫館
10	宝石箱	長江弥三	1962年頃	モザイク浪漫館
11	小流し		1963年頃	モザイク浪漫館
12	調理台		1963年頃	モザイク浪漫館
13	風呂の洗い場		1963年頃	モザイク浪漫館
14	小箱	周山工業所	1968年頃	モザイク浪漫館
15	ギヤマンタイル	水英製陶所	1970年頃	モザイク浪漫館
16	菱形	水英製陶所	1970年頃	モザイク浪漫館
17	小花柄	水英製陶所	1970年頃	モザイク浪漫館
18	自動車			モザイク浪漫館
19	留柄帳	財団法人 日本陶磁器意匠センター	1963年-1980年頃	ミスズアート・スタジオ
20	カタログ	佐藤タイル	昭和初期	株式会社 丸英
21	カタログ	日本タイル	昭和初期	株式会社 丸英
22	カタログ	淡陶社	昭和初期	株式会社 丸英
23	カタログ(複製)	佐治タイル	1935年頃	株式会社 丸英
24	伊奈の内装タイルカタログ	伊奈製陶株式会社	1940年	INAXライブミュージアム
25	タイル流しカタログ	TAIKOSANGYO	1955年頃	モザイク浪漫館
26	黄瀬戸釉印花文敷瓦	不詳	江戸時代後期か	モザイク浪漫館
27	本業敷瓦(笠原町折戸湯)	不詳	1897年-1907年頃	モザイク浪漫館
28	マジョリカタイル	長谷川製陶	1921年頃	モザイク浪漫館
29	マジョリカタイル	淡陶社	1921年頃	モザイク浪漫館
30	マジョリカタイル	佐治タイル	1925年頃	モザイク浪漫館
31	マジョリカタイル	廣正商店	1928年頃	モザイク浪漫館
32	マジョリカタイル	廣正商店	1928年頃	モザイク浪漫館
33	いもむしタイル	水英製陶所	1940年頃	モザイク浪漫館
34	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
35	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
36	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
37	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
38	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
39	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
40	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
41	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
42	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
43	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
44	タイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1940年頃	モザイク浪漫館
45	モザイクタイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1930年頃	モザイク浪漫館
46	モザイクタイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1930年頃	モザイク浪漫館
47	モザイクタイル	錦窯山内タイル製陶所	1926年-1930年頃	モザイク浪漫館
48	モザイクタイル	玉ノ湯(加藤清一)	1932年-1933年頃	モザイク浪漫館
49	マーブル	廣正商店	1940年頃	モザイク浪漫館
50	クローバー	(有)羽根山窯業	1953年頃	モザイク浪漫館
51	丸タイル	錦窯山内タイル製陶所	1953年頃	モザイク浪漫館
52	風車	不詳	1953年-1955年	モザイク浪漫館
53	(風車)	不詳	1953年-1955年	モザイク浪漫館
54	6分無釉	高砂工業	1955年頃	モザイク浪漫館
55	ハンドラ	山春製陶所	1955年頃	モザイク浪漫館
56	スタンダード	丸高製陶所	1959年頃	モザイク浪漫館
57	ダイヤゴン・モザイク	カネキ製陶所	1960年-1965年頃	モザイク浪漫館
58	スモールランダム	山春製陶所 他	1960年頃	モザイク浪漫館
59	パール8分丸	カネキ製陶所	1960年頃	モザイク浪漫館
60	Aスレンダー	カネ正製陶所	1960年頃	モザイク浪漫館
61	スモールランダム	マルハ製陶所・山春製陶所	1960年頃	モザイク浪漫館
62	カメリヤ・ハンドラ 他	加藤タイル製陶所 他	1960年頃	モザイク浪漫館
63	バラソル	鈴製陶所	1961年-1963年頃	モザイク浪漫館
64	クロバータイル	東隆タイル	1963年頃	モザイク浪漫館
65	KS玉石	三協製陶所・丸高製陶所 他	1963年頃	モザイク浪漫館
67	ランダム春雨	山春製陶所	1964年頃	モザイク浪漫館
68	チェリー	丸万商会・山幸製陶	1963年頃	モザイク浪漫館
69	ピラミッド・パターンA	丸万商会	1964年頃	モザイク浪漫館
70	スーパー	羽根タイル	1964年頃	モザイク浪漫館
71	ベリーストン	丸高製陶所	1965年頃	モザイク浪漫館
72	窯変丸 モザイク	濃飛タイル	1965年-1970年	モザイク浪漫館
73	不詳	不詳	1960年代か	モザイク浪漫館
74	M.I. フラワー・パターン	山周工業所 他	1965年頃	モザイク浪漫館
75	6分二丁	丸基製陶	1970年頃	モザイク浪漫館
76	ばら	日本プリント(三協製陶所)	1970年頃	モザイク浪漫館
77	ニューロートン	丸吾製陶、カネ正製陶所	1970年頃	モザイク浪漫館
78	グレース・ボタン	カネキグループ	1970年頃	モザイク浪漫館
79	木の葉タイル 他	長江製陶所 他	1970年頃	モザイク浪漫館
80	ハイルック	ススム製陶	1970年頃	モザイク浪漫館
81	ランタン ニューインテリアル	濃飛タイル	1970年-1973年頃	モザイク浪漫館
82	美術タイル	サンコウ陶苑	1972年頃	モザイク浪漫館
83	日光	中島窯業	1974年頃	モザイク浪漫館

84	栄光	隅谷製陶所	1974年頃	モザイク浪漫館
85	春日	カネ錠製陶所・日本プリント	1975年頃	モザイク浪漫館
86	キャスター	各務製陶所	1980年頃	モザイク浪漫館
87	輸出用タイル(リリー他)	(有)モダンタイル	1970年頃	モザイク浪漫館
88	タイル壁画下絵「青春」(バステル)	岡本太郎	1956年頃	
89	タイル壁画下絵「青春」(油彩画 写真による複製)	岡本太郎	1956年頃	
90	エンゴロ、焼成前、焼成後のタイル			モザイク浪漫館
91	貼り板		1977年頃	モザイク浪漫館
92	役もの用張り板			モザイク浪漫館
94	荷造り道具			モザイク浪漫館
95	カバン		1963年	モザイク浪漫館
96	四面鏡		1975年頃	モザイク浪漫館
97	土のサンプル			株式会社ヤマセ
98	インテリアタイル	川村秀樹	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
99	装飾タイル・間仕切りタイル	山本虔山	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
100	音響調整レリーフタイル	山本虔山	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
101	le rides et les ris de l'eau 水面のさざ波と笑い	山崎暢子	2002年	作家蔵
102	ワイシャツ	山崎暢子	2004年	作家蔵
103	バラワンピース	山崎暢子	2008年	作家蔵
104	ワンピース	山崎暢子	2007年	作家蔵
105	klolo	デザイン 黒河兼吉 製造 株式会社大畑産業	2008年	名古屋モザイク工業株式会社
106	麻の葉	名古屋モザイク工業株式会社	2008年	名古屋モザイク工業株式会社

2009 年

ギャラリーⅡ 展示室 A ～ D

中山保夫 ～品格の洋食器～

Nakayama Yasuo ～ Western Tableware Full of Grace ～

会 期：2009年4月7日(火)～6月28日(日)

観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料



■内容

本展は、中山保夫の初期の和食器や宮内庁に納めたコーヒー碗皿、さらに本格的なディナーセットまで、その多彩な表現を紹介したものです。

「陶器にオリジナリティーを」これは、中山保夫が創業以来、方針としてきた言葉です。目指したのはヨーロッパの陶磁器ブランドの洋食器がもつ高級感。その上でオリジナルのデザインを追求し、バラエティーに富んだ幾種類もの食器を作り出してきました。特に脚部とカップを一つの型で成形するステムウェアのワイングラスを始め、気品あふれる洋食器には定評があります。

中山保夫は1922年（大正11）、岐阜県多治見市に生まれます。多治見工業学校（現在の岐阜県立多治見工業高校）を卒業後、岩城硝子に就職。終戦後、兵役から戻ると多治見で陶土原料の会社に就職します。そこで原料の性質を一から学び、30歳の若さで工場長に就任しますが、1959年に独立して陶磁器製造を開始します。以来約50年、自ら工夫を凝らして間を惜しまず作られた作品は、数々の受賞に加え、宮内庁の注文により公式晩餐会用の食器を納品するなど高い評価を得てきました。本展では、その精密な作業工程を物語るデザイン画や手描き見本、転写紙、さらに憧れたヨーロッパの陶磁器も合わせて展示し、(株)ナカヤマの食器が醸し出す品格の秘密を探りました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶工房 52号 [展覧会情報／2009年3月1日]

つくる陶磁郎 47号 [展覧会情報／2009年5月26日]

陶説 676号 [展覧会評・井上隆生／2009年7月1日]

【新聞】

中日新聞(岐阜総合) [展覧会紹介／2009年4月8日]

岐阜新聞(東濃地域) [展覧会紹介／2009年4月25日]

中日新聞(岐阜総合) [展覧会紹介／2009年5月4日、5日、6日]

中日新聞(岐阜総合) [展覧会解説・村山学芸員／2009年5月16日、17日、18日]

朝日新聞(夕刊) [展覧会紹介／2009年5月29日]

■関連事業

▶ ギャラリートーク「中山保夫、自作を語る」

講 師：中山保夫(株)ナカヤマ社長)

聞 き 手：榎本徹(岐阜県現代陶芸美術館長)

日 時：2009年5月2日(土) 午後2時～3時30分

会 場：岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーⅡ

主 催：岐阜県現代陶芸美術館友の会

入場者数：30人

■印刷物

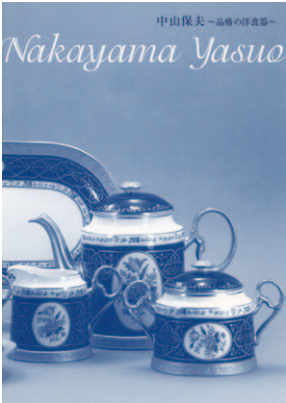
展覧会リーフレット

編集・執筆：岐阜県現代陶芸美術館 村山閑

制 作：西濃印刷

■出品リスト

作品番号	作品名【 】内は制作者	デザイン年	所蔵
1	試作品(ボーダーライン)	1965年頃	株式会社ナカヤマ
2	手彫 葡萄レリーフコーヒー碗皿	1965年	株式会社ナカヤマ
3	ルリボーダー葡萄文コーヒー碗皿	1970年	株式会社ナカヤマ
4	エメラルドグリーン紅茶碗皿	1972年	株式会社ナカヤマ
5	金腐らし紅茶碗皿		株式会社ナカヤマ
7	瑠璃釉蘭酒器揃	1975年頃	岐阜県現代陶芸美術館
8	ニューボン蘭汲出揃	1975年頃	岐阜県現代陶芸美術館
9	ニューボン蘭銘々皿	1975年頃	岐阜県現代陶芸美術館
10	ニューボン蘭土瓶茶器揃	1975年頃	岐阜県現代陶芸美術館
11	手描き元見本 瑠璃釉山茶花一輪挿し	1981年	岐阜県現代陶芸美術館



12	手描き元見本	秋草文土瓶茶器揃ブラウン	1980年	岐阜県現代陶芸美術館
13	酒壺アソート		1992年	岐阜県現代陶芸美術館
14	瑠璃鳳凰文菓子鉢			岐阜県現代陶芸美術館
15	ブラウン結梗小紋16角取り皿セット			岐阜県現代陶芸美術館
16	染付文蓋付煎茶揃			岐阜県現代陶芸美術館
17	手描き元見本	銀杏汲出揃		岐阜県現代陶芸美術館
18	手描き元見本	秋草文汲出揃		岐阜県現代陶芸美術館
19	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿秋の草	1980年	個人蔵(寄託)
20	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿ドリームフラワー	1981年	個人蔵(寄託)
21	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿ミッシェル	1981年	個人蔵(寄託)
22	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿ナデシコ		個人蔵(寄託)
23	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿バターフライ		個人蔵(寄託)
24	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿ゴールドローズ	1981年	個人蔵(寄託)
25	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿エルエ		個人蔵(寄託)
26	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿トプカビ	1982年	個人蔵(寄託)
27	菊型コーヒー碗皿大正小紋		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
28	手描き元見本	木蓮コーヒー碗皿	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
29	菊型コーヒー碗皿京小紋		1987年	岐阜県現代陶芸美術館
30	菊型コーヒー碗皿エランドール		1988年	岐阜県現代陶芸美術館
31	手描き元見本	南天小紋コーヒー碗皿	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
32	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿サウスアイランド	1992年	個人蔵(寄託)
33	手描き元見本	黒地百花コーヒー碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
34	ヴィクトリアブラックコーヒー碗皿		1980年	個人蔵(寄託)
35	ヴィクトリアマロンコーヒー碗皿		1980年	個人蔵(寄託)
36	手描き元見本	プレジデントコーヒー碗皿ゴールドクラウン	1981年	個人蔵(寄託)
37	手描き元見本	プレジデントコーヒー碗皿ゴールドブドウ	1981年	個人蔵(寄託)
38	プレジデントコーヒー碗皿ルネッサンス		1982年	岐阜県現代陶芸美術館
39	手描き元見本	プレジデントコーヒー碗皿万歴	1982年	個人蔵(寄託)
40	手描き元見本	ホワイトローズプレジデントコーヒー碗皿	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
41	プレジデントコーヒー碗皿松竹梅		1994年	個人蔵(寄託)
42	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿グリンガラス		個人蔵(寄託)
43	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿/レンシア	1983年	個人蔵(寄託)
44	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿ビンテージ		個人蔵(寄託)
45	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿カンタータ	1984年	個人蔵(寄託)
46	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿キャリオカ	1984年	個人蔵(寄託)
47	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿キュービック	1984年	個人蔵(寄託)
48	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿コスモローズ	1984年	個人蔵(寄託)
49	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿メキシカン	1984年	個人蔵(寄託)
50	手描き元見本	六角コーヒー碗皿メダリオン		個人蔵(寄託)
51	手描き元見本	六角コーヒー碗皿金小紋		個人蔵(寄託)
52	レフロールコーヒー碗皿/リジェンヌ		1984年	岐阜県現代陶芸美術館
53	手描き元見本	レフロールコーヒー碗皿 フローリアン		個人蔵(寄託)
54	手描き元見本	ピンク小花レフロール		岐阜県現代陶芸美術館
55	手描き元見本	シクラメン レフロール	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
56	レフロールコーヒー碗皿カンパニウラ			岐阜県現代陶芸美術館
57	レフロールコーヒー碗皿ベルシャンフラワー			岐阜県現代陶芸美術館
58	試作品	(ニューセラミックス ステムウェア)	1985年頃	株式会社ナカヤマ
59	S型ワインセット	(ポピー、桜草マロン、桜草ブルー、水仙、パンジー)	1987年	個人蔵(寄託)
60	絵変ワイングラス	M (シャルル、アンズリウム、ボンボヌ、ジュエル、ロザリー)	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
61	ペアワイングラス			岐阜県現代陶芸美術館
62	ステムウェアコーヒー碗皿アンズリウム		1987年	岐阜県現代陶芸美術館
63	手描き元見本	ロザリー ステムコーヒー碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
64	ステム紅茶碗皿イリュージョン		1992年	岐阜県現代陶芸美術館
65	ステム紅茶碗皿/レボール		1992年	岐阜県現代陶芸美術館
66	ステム紅茶碗皿ビジュ		1992年	岐阜県現代陶芸美術館
67	ステム紅茶碗皿ボルドー		1992年	岐阜県現代陶芸美術館
68	ボンチャイナステムデミタスコーヒー碗皿黒釉葡萄文		1988年	岐阜県現代陶芸美術館
69	ボンチャイナステムデミタスコーヒー碗皿金彩唐草			岐阜県現代陶芸美術館
70	ステムコーヒー碗皿ノアール		1988年	岐阜県現代陶芸美術館
71	手描き元見本	ローズアカデミー ステムコーヒー碗皿	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
72	手描き元見本	グリースエイジ ステムコーヒー碗皿	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
73	ステムコーヒー碗皿ファッショネーション		1989年	岐阜県現代陶芸美術館
74	ステムコーヒー碗皿花ぶどう		1989年	岐阜県現代陶芸美術館
75	ボンチャイナステムコーヒー碗皿黒地洋小花			岐阜県現代陶芸美術館
76	手描き元見本	花と蝶四つ足碗皿	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
77	手描き元見本	アンジェリーナボンチャイナ コーヒー碗皿	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
78	手描き元見本	格子バラ四つ足碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
79	手描き元見本	花束四つ足碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
80	デミタス碗皿木賊文様			岐阜県現代陶芸美術館
81	デミタス碗皿エデン			岐阜県現代陶芸美術館
82	手描き元見本	チンソークローバー型コーヒー碗皿	1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
83	手描き元見本	花鳥ムクゲクローバー型コーヒー碗皿	1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
84	手描き元見本	花鳥タイサンボクコーヒー碗皿	1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
85	花鳥コーヒー碗皿タイサンボク		1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
86	花鳥コーヒー碗皿ザクロ		1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
87	花鳥コーヒー碗皿山吹		1989年頃	岐阜県現代陶芸美術館
88	ボンチャイナ高台角形花鳥碗皿梅に鶯		1989年頃	個人蔵(寄託)
89	琳派屏風絵クローバー型コーヒー碗皿松島図		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
90	琳派屏風絵クローバー型コーヒー碗皿八橋の図		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
91	琳派屏風絵クローバー型コーヒー碗皿月に秋草図		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
92	菊絵レースコーヒー碗皿			岐阜県現代陶芸美術館
93	手描き元見本	マロン更紗コーヒー碗皿	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
94	菊型紅茶碗皿ブルー更紗		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
95	手描き元見本	桐文菊型紅茶碗皿		岐阜県現代陶芸美術館

96	手描き元見本	ニューエデン紅茶碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
97	手描き元見本	ベルサイユ高台コーヒー碗皿	1992年	個人蔵(寄託)
98	手描き元見本	ベルサイユ高台紅茶碗皿	1992年	個人蔵(寄託)
99	ガラントリーボンチャイナ	グリーン	1990年	個人蔵(寄託)
100	ガラントリーボンチャイナ	イエロー	1990年	個人蔵(寄託)
101	ガラントリーボンチャイナ	サーモン	1990年	個人蔵(寄託)
102	ガラントリーボンチャイナ	ブルー	1990年	個人蔵(寄託)
103	ガラントリーボンチャイナ	マロン	1990年	個人蔵(寄託)
104	カラー5色ゴールドコーヒー碗皿イエロー			個人蔵(寄託)
105	カラー5色ゴールドコーヒー碗皿エメラルド			個人蔵(寄託)
106	カラー5色ゴールドコーヒー碗皿ピンク			個人蔵(寄託)
107	カラー5色ゴールドコーヒー碗皿マロン			個人蔵(寄託)
108	カラー5色ゴールドコーヒー碗皿ルリ			個人蔵(寄託)
109	シシリーコーヒー碗皿		1992年	個人蔵(寄託)
110	ナポリ紅茶碗皿		1992年	個人蔵(寄託)
111	ベスピアスコーヒー碗皿		1992年	個人蔵(寄託)
112	ルリボーダークラウンアメリカン碗皿			個人蔵(寄託)
113	手描き元見本	松竹梅ホワイトナシ型コーヒー碗皿	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
114	手描き元見本	松竹梅瑠璃ナシ型コーヒー碗皿	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
115	手描き元見本	ブラウン葡萄文反切立コーヒー碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
116	手描き元見本	ブラウン古伊万里菊文アイリッシュコーヒー碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
117	手描き元見本	ブラウン釉唐草コーヒー碗皿		岐阜県現代陶芸美術館
118	セレナボンチャイナコーヒー碗皿		1993年	岐阜県現代陶芸美術館
119	わすれな草コーヒー碗皿	ブラウン		岐阜県現代陶芸美術館
120	わすれな草コーヒー碗皿	瑠璃		岐阜県現代陶芸美術館
121	手描き元見本	花束切立マグ		岐阜県現代陶芸美術館
122	手描き元見本	花帯切立マグ		岐阜県現代陶芸美術館
123	手描き元見本	風景画切立マグ		岐阜県現代陶芸美術館
124	ボンチャイナマグカップ	シシリー	1992年	個人蔵(寄託)
125	ボンチャイナマグカップ	ベスピアス	1992年	個人蔵(寄託)
126	ボンチャイナマグカップ	ナポリ	1992年	個人蔵(寄託)
127	菊皿絵変ゲーキ皿			岐阜県現代陶芸美術館
128	ニューボンチンソー金具付蓋物宝石入れ(白)			個人蔵(寄託)
129	ニューボンチンソー金具付蓋物宝石入れ(黒)			個人蔵(寄託)
130	ゴールドクラウンボンチャイナコーヒー碗皿		1981年	岐阜県現代陶芸美術館
131	六角葡萄唐草紋ステムウェア		1991年	岐阜県現代陶芸美術館
132	菊花御紋草入コーヒー碗皿		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
133	菊型コーヒー碗皿黒釉桃花		1977年	岐阜県現代陶芸美術館
134	ブラチナローズマロンコーヒー碗皿		1981年	岐阜県現代陶芸美術館
135	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿カベルマロン	1983年	個人蔵(寄託)
136	手描き元見本	ブラウンアルハンプラ菊型紅茶碗皿	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
137	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿セレナーデ	1983年	個人蔵(寄託)
138	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿アラビカ		個人蔵(寄託)
139	手描き元見本	ボンチャイナコーヒー碗皿グレープ		個人蔵(寄託)
140	手描き元見本	菊型コーヒー碗皿カトレヤ		個人蔵(寄託)
141	手描き元見本	チュールリップ レフロール	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
142	手描き元見本	レフロールコーヒー碗皿 スクロール		個人蔵(寄託)
143	手描き元見本	レフロールコーヒー碗皿 野いちご	1992年	個人蔵(寄託)
144	手描き元見本	メタリックコーヒー碗皿七宝紋		個人蔵(寄託)
145	手描き元見本	レフロールコーヒー碗皿 リンダ	1984年	個人蔵(寄託)
146	レフロールコーヒー碗皿リンダ		1984年	岐阜県現代陶芸美術館
147	手描き元見本	黒地亀甲文コーヒー碗皿	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
148	カップ&ソーサー	黒地亀甲文コーヒー碗皿	1987年	株式会社ナカヤマ
149	藤花文酒器揃		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
150	手描き元見本	ルリ釉秋草2人用茶器セット		個人蔵(寄託)
151	麒麟鳳凰紋Nワインカップセット			個人蔵(寄託)
152	梅花文樽型茶器揃		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
153	古木梅花文菓子鉢		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
154	梅花文ナデ角銘々皿セット		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
156	転写紙(菊花御紋草入コーヒー碗皿およびワインカップ)		1990年	岐阜県現代陶芸美術館
157	紙資料	デザイン画および転写紙		個人蔵(寄託)
158	紙資料	模様説明/パンフなど資料		岐阜県現代陶芸美術館
159	クラウデッドブルー ティーセット	【セーブル】	1876年(1876年制作)	岐阜県現代陶芸美術館
160	フローラダニカ	【ロイヤルコペンハーゲン】	1790年(2004年制作)	岐阜県現代陶芸美術館
161	ジャパニ	【ロイヤルクラウンダービー】	1880年(2004年制作)	岐阜県現代陶芸美術館
162	黒釉桃花ティーサービス		1977年	岐阜県現代陶芸美術館
163	ノーブルボンチャイナ ティーセット			岐阜県現代陶芸美術館
164	ルーブルレジデント コーヒーセット		1982年	岐阜県現代陶芸美術館
165	ワインカントリー レフロール コーヒーセット		1986年	岐阜県現代陶芸美術館
166	銅版鳳凰桐唐草文 デミタスセット	【美濃・瀬戸】	昭和時代	岐阜県現代陶芸美術館
167	シュガーボット(白素地)	【山五陶業】	1950年頃	瑞浪市陶磁資料館
168	シュガーボット(絵付製品)	【山五陶業】	1950年頃	瑞浪市陶磁資料館

2009 年度

ギャラリーⅡ 展示室 A

加藤孝造展

Kato Kozo

会 期：2009年8月1日(土)～2010年3月28日(日)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料
共 催：中日新聞社



■内容

本展は、郷土の作家シリーズとして、岐阜県重要無形文化財〈志野・瀬戸黒〉保持者（当時・現・重要無形文化財〈瀬戸黒〉保持者）・加藤孝造の歩みを取り上げたものです。

加藤孝造（1935～、岐阜県瑞浪市生まれ）は、岐阜県多治見工業高等学校を卒業後、岐阜県陶磁器試験場（現・岐阜県セラミックス研究所）に勤務します。当時打ち込んでいた絵画と、美濃に在ることの狭間で悩んでいた加藤を陶芸の世界に向かわせたのは、場長であった五代加藤幸兵衛でした。美濃でしか出来ないこと、これこそが、加藤を必然的に陶芸へと向かわせたのでしょう。

現代日本陶芸展、朝日陶芸展、そして日本伝統工芸展における華々しい活躍は、作陶することに対するストイックで真摯な態度に支えられています。手回し轆轤での成形と、半地上式穴窯での焼成に拘り続ける姿は、「最後の陶工」と言われるに相応しいでしょう。それは、師・荒川豊蔵から受けた多大なる影響力の反映であり、師の生きざまは現在も加藤の心に在り続けています。加藤の作品が放つ、穏やかな外見に隠された激しい情念は、師から受け継いだ厳格なる制作態度を守り続ける、類まれな自制心にこそ起因しているのかもしれません。

本展覧会では、加藤の代名詞とも言える志野、瀬戸黒をはじめとして、青年・加藤が情熱を傾けていた油絵も併せて展示しました。やきものでは内蔵された情念が、油絵においてはより直接的に、圧倒的な迫力で表現されています。近作である水墨画も同時に展示することで、その広範囲に及ぶ制作活動を、より多角的にご覧いただきました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

陶説 667号 [展覧会解説・紹介・榎本館長／2009年8月1日]
炎芸術 99号 [展覧会情報／2009年8月1日]
陶説 680号 [展覧会評・井上隆生／2009年11月1日]
芸術批評誌 リア 23号 [展覧会評・井上隆生／2010年3月31日]

【新聞】

中日新聞(岐阜県版&社会版) [展覧会紹介／2009年8月2日]
中日新聞 [展覧会情報／2009年7月20日]
中日新聞 [展覧会紹介／2009年9月22日、23日、24日]
中日新聞(東濃版) [展覧会評・井上隆生／2009年12月18日]
中日新聞 [展覧会紹介／2010年1月19日]

■関連事業

▶「加藤孝造展開幕記念 ギャラリートーク」

講 師：加藤孝造
日 時：2009年8月1日(土)14:00～
会 場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーⅡ 展示室A
入場者数：120人

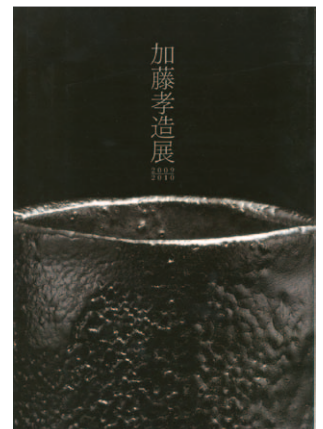
▶「まち」の中の加藤孝造展

日 時：2009年11月28日(土)13:30～15:30
会 場：多治見市役所、多治見市産業文化センター、十九田町モニュメント等
参加者数：17人

■印刷物

展覧会図録『加藤孝造展』56頁

編 集：加藤孝造
編集協力：岐阜県現代陶芸美術館
デザイン：妹尾光洋
撮 影：斎城卓、島修一、林周悟
印 刷：セキ株式会社
発 行：加藤孝造



■出品リスト

作品番号	作品名	制作年	所蔵
1	染付鉢	1957年頃	個人蔵
2	赤絵輪連文壺	1958年頃	個人蔵
3	粉引幽印花文花瓶	1958年頃	岐阜県セラミックス研究所
4	鉄絵花瓶絵陶額	1958年頃	岐阜県セラミックス研究所
5	鼠志野水差し、ビールジョッキ	1960年頃	岐阜県セラミックス研究所
6	黄磁花瓶	1960年頃	個人蔵
7	焼き締め土瓶	1961年頃	個人蔵
8	志野白帯文壺	1962年頃	岐阜県セラミックス研究所
9	鼠志野ねじり壺	1963年頃	岐阜県セラミックス研究所
10	鉄釉花入	1965年頃	個人蔵
11	染付蝸牛文陶額	1965年頃	個人蔵
12	織部大平鉢	1968年	個人蔵
13	志野陶器	1969年	個人蔵
14	鉄釉大鉢	1970年頃	個人蔵
15	志野扁壺	1976年	個人蔵
16	鉄釉壺	1976年	岐阜県博物館
17	織部流文大皿	1986年頃	個人蔵
18	志野扁壺	1991年	個人蔵
19	織部菊皿	1998年頃	個人蔵
20	黄瀬戸扁壺	2001年頃	個人蔵
21	志野叩き扁壺	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
22	瀬戸黒茶盃	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
23	志野向付	2004年頃	個人蔵
24	黄瀬戸花入	2006年	個人蔵
25	瀬戸黒茶盃	2007年	個人蔵
26	瀬戸黒茶入	2007年	個人蔵
27	志野水指	2008年	個人蔵
28	志野流文長方大皿	2008年	個人蔵
29	志野亀甲小皿	2008年	個人蔵
30	志野茶盃	2009年	個人蔵
31	黄瀬戸茶盃	2009年	個人蔵
32	唐津茶盃	2009年	個人蔵
33	昼下り	1954年	個人蔵
34	冬の病院	1955年	個人蔵
35	肉屋	1956年	岐阜県食肉事業協同組合連合会蔵
36	肉屋の一隅	1957年頃	岐阜県食肉事業協同組合連合会蔵
37	皮フハガサレタ牛首	1956年	個人蔵
38	ザク口	1956年	個人蔵
39	狂気の自像	1957年頃	個人蔵
40	墨絵衝立	2004年	個人蔵
41	風雪	1998年頃	個人蔵
42	山また山	1998年頃	個人蔵
43	陶郷ノ秋	1998年頃	個人蔵
44	雪中平柴谷	2001年	個人蔵
45	一ふじ二たか三なすび	2004年	個人蔵
46	寒紅梅	1998年頃	個人蔵
47	秋ふかし	1998年頃	個人蔵
48	あざみ	1998年頃	個人蔵
49	雀	2006年頃	個人蔵

2009 年度

ギャラリーⅡ 展示室 B・D

前衛陶芸家の器

Avant-garde Ceramists and Their Vessels

会 期：2009年8月1日(土)～2010年3月28日(日)
観覧料：一般320円、大学生210円、高校生以下無料
※11月3日(月・祝)文化の日は無料開放
主 催：岐阜県現代陶芸美術館



■内容

1948年に結成され、日本の近代陶芸史のなかにオブジェというものを導き入れて、その後の陶芸界の方向性を大きく変えた走泥社。その結成メンバーであり、前衛陶芸の旗手とされる八木一夫、山田光、鈴木治、のちにその活動に加わった熊倉順吉は、中国や朝鮮の古陶磁といった古典の模倣からの決別を目指す走泥社の活動のなかで、器をへこませ、口をふさぎ、そして壺を切り、器の概念を解体するように新しい造形に取り組みます。やがて彼らは各々のオブジェにおける表現を確立しますが、その活動の足跡をたどると、オブジェ作品に取り組む一方で器制作にも取り組んでいた姿が現れてきます。

本展ではこの八木一夫、山田光、鈴木治、熊倉順吉の4人が手掛けたオブジェ作品と器の作品をあわせて展示することで、前衛陶芸家と位置づけられ、陶芸における新たな造形の可能性を切り拓いた彼らが臨んだ器への思いを、計66点（展示替え含む）の作品により探りました。また2006年度に稲塚英樹氏より寄贈された熊倉順吉の器の作品も多く出品し、披露の機会となりました。

■雑誌・新聞関連記事〈抜粋〉

【雑誌】

集 43号 [展覧会紹介／2009年6月1日]

【新聞】

中日新聞(岐阜) [展覧会紹介／2009年9月3日]

岐阜新聞(岐阜総合) [展覧会紹介／2009年9月23日]

■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	八木一夫	曲	1964年	岐阜県現代陶芸美術館
2	八木一夫	陶筒 鳥雲に入る	1968年	岐阜県現代陶芸美術館 ◇
3	八木一夫	陶筒 行進	1968年	岐阜県現代陶芸美術館 ◆
4	八木一夫	頁1	1971年	岐阜県現代陶芸美術館
5	八木一夫	粉引面取水指	1976年頃	個人蔵
6	八木一夫	白い面取りの茶碗	1976年	個人蔵
7	八木一夫	片口形三島千点文茶碗	1977～78年	個人蔵
8	八木一夫	楽茶碗	1977年頃	個人蔵
9	八木一夫	赤楽茶碗	1977年頃	個人蔵
10	八木一夫	茶碗	年代不詳	個人蔵
11	八木一夫	白化粧線文茶碗	年代不詳	個人蔵 ◇
12	八木一夫	白化粧線文茶碗	年代不詳	個人蔵 ◆
13	八木一夫	茶釉水注	年代不詳	個人蔵
14	八木一夫	抛散皿出多	年代不詳	個人蔵
15	八木一夫	日日は夢中	年代不詳	個人蔵
16	八木一夫	千点文盃	年代不詳	個人蔵
17	八木一夫	盃	年代不詳	個人蔵
18	八木一夫	粉引盃	年代不詳	個人蔵
19	八木一夫	門工房表札	年代不詳	個人蔵
20	山田光	柿釉掻取壺	1947年	岐阜県美術館
21	山田光	白化粧線彫花器	1951年	岐阜県現代陶芸美術館
22	山田光	二つの口の壺	1952年	岐阜県現代陶芸美術館
23	山田光	切った壺	1953年	岐阜県現代陶芸美術館 ◇
24	山田光	作品	1953年	岐阜県現代陶芸美術館 ◆
25	山田光	作品	1956年	岐阜県現代陶芸美術館 ◆
26	山田光	白釉食器一式	1959～69年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
27	山田光	塔	1960年頃	岐阜県現代陶芸美術館 ◇
28	山田光	鉄描線文皿	1963～65年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
29	山田光	背を向ける半円	1981年	岐阜県現代陶芸美術館 ◇
30	山田光	黒伊羅保茶碗	1989年	岐阜県美術館
31	山田光	灰釉茶碗	1989年	岐阜県美術館
32	山田光	灰釉茶碗	1989年	個人蔵
33	山田光	銀泥陶壁	1991年	岐阜県現代陶芸美術館 ◆
34	門工房	千点紋食器一式	1962年	岐阜県現代陶芸美術館

35	鈴木治	天馬横轉	1973年	岐阜県現代陶芸美術館
36	鈴木治	馬形	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
37	鈴木治	柿天目茶碗	年代不詳	個人蔵
38	鈴木治	青白磁茶碗	年代不詳	個人蔵
39	鈴木治	青白磁水指	年代不詳	個人蔵
40	鈴木治	馬ノ水注	年代不詳	個人蔵
41	鈴木治	青白磁盃	年代不詳	個人蔵
42	鈴木治	赤絵馬上杯	1960年代	個人蔵
43	鈴木治	酒注	年代不詳	個人蔵
44	鈴木治	酒注	年代不詳	個人蔵
45	鈴木治	酒注	年代不詳	個人蔵
46	鈴木治	土瓶	年代不詳	個人蔵
47	熊倉順吉	作品	1971年	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
48	熊倉順吉	くろい女	1974年頃	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
49	熊倉順吉	海鼠釉長靴	1976年	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
50	熊倉順吉	ジャズの城	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
51	熊倉順吉	VOCAL	1977年頃	岐阜県現代陶芸美術館
52	熊倉順吉	南瓜文花瓶	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
53	熊倉順吉	白化粧鉢	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
54	熊倉順吉	織部鳥	1960年代	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
55	熊倉順吉	織部壺	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
56	熊倉順吉	織部壺	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
57	熊倉順吉	指のある花生	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
58	熊倉順吉	海鼠釉花器	1973年	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
59	熊倉順吉	コーヒーセット	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
60	熊倉順吉	土瓶・湯呑み	1970年代後半	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
61	熊倉順吉	皿	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
62	熊倉順吉	織部皿	1970年代後半	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
63	熊倉順吉	織部皿	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
64	熊倉順吉	織部皿	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
65	熊倉順吉	織部皿	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション
66	熊倉順吉	ラスター釉手壺	年代不詳	岐阜県現代陶芸美術館 稲塚コレクション

※展示期間：◇2009.8.1～2009.11.1 ◆2009.11.3～2010.3.28

2009 年度

ギャラリーⅡ 展示室 C

思春期のカタチ2009ーワークショップ作品展ー

Figures at the youthful age 2009 (Works from the workshop)

会 期：2009年11月10日(火)～12月13日(日)



■内容

中学生・高校生を対象に収蔵作家を講師に招いて行うワークショップを2009年8月8日(土)～8月9日(日)に実施しました。
今回の講師は、小塩薫さんです。小塩さんは、靴や帽子など女性にとって身近なものを題材に、磁器という素材の力を探るようにして制作されています。
ワークショップの1日目は、小塩さんの作品に対する思いを聞いたり、展示してある作品を鑑賞したりしました。そして、鑑賞から受けたイメージをアイデアスケッチで描くことを通して、それぞれの構想を練りました。2日目は、講師の技法指導のもと、パイプに粘土を貼り付け、木べらやネット、印などを使って思い思いの模様のランプシェードをつくりました。
感じ方や表現の違いを自覚し始める思春期の子どもたちが、このワークショップで制作したそれぞれのカタチを「思春期のカタチ」として、作家の作品とともに展示しました。

■出品リスト

小塩薫教室

作品番号	作品名	学校名	学年
1	流光樹	多治見工業高校	3年
2	植物と鳥たち	南ヶ丘中学校	1年
3	自然	瑞陵中学校	1年
4	トーテムポール	境川中学校	1年
5	音の園	陶都中学校	2年
6	鶏	陶都中学校	2年
7	gift	岐阜東高等学校	2年
8	Tシャツ	南ヶ丘中学校	1年
9	いびつな形	南ヶ丘中学校	1年

収蔵作品点数年度別一覽

	2010年3月末現在			
	購入	寄贈	年度別収蔵品合計	累計
1998年度	39	0	39	39
1999年度	54	4	58	97
2000年度	105	1	106	203
2001年度	174	11	185	388
2002年度	57	12	69	457
2003年度	17	98	115	572
2004年度	38	13	51	623
2005年度	14	42	56	679
2006年度	30	135	165	844
2007年度	125	29	154	998
2008年度	7	70	77	1075
2009年度	0	36	36	1111
合計	660	451	1111	

収蔵作品貸出記録

作品名	作家名	貸出先	展覧会名	会場	会期
絵志野茶碗	荒川豊蔵	中日新聞社	「人間国宝 荒川豊蔵」展	岐阜県美術館	2007.9.8～2007.11.4
				岡山県立美術館	2008.1.16～2008.2.24
				茨城県陶芸美術館	2008.4.19～2008.6.22
花器 摩利耶	十二代三輪休雪	朝日新聞事業本部 名古屋企画事業チーム	「第四十五回記念 朝日陶芸展審査員作品展」	名古屋スカイル8階丸栄催事場	2007.9.6～2007.9.11
				滋賀県立陶芸の森・信楽産業展示館	2007.9.15～2007.9.30
				高浜市やきものの里かわら美術館	2008.1.9～2008.2.17
				堺市立文化館	2008.2.20～2008.3.31
				そごう美術館	2008.4.12～2008.5.6
木の実に蜻蛉図皿 浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶 セルヴィスルソーの三つ脚付き鉢	エミール・ガレ 宮川香山 フェリックス・ブラックモン	サントリー美術館	「ガレとジャポニスム」	サントリー美術館	2008.3.20～2008.5.11
				サントリーミュージアム天保山	2008.5.22～2008.7.13
オクタゴナルティーセット カルトワージュティーセット	ウェッジウッド	朝日新聞社事業部(東京)	「創立250周年 ウェッジウッド・ ヨーロッパ「陶磁器デザイン」の歴史」	岐阜県現代陶芸美術館	2008.7.19～2008.9.30
				兵庫陶芸美術館 そごう美術館 静岡アートギャラリー 山口県立萩美術館・浦上記念美術館	2008.10.8～2009.1.12 2009.1.29～2009.3.12 2009.4.11～2009.6.21 2009.7.4～2009.8.23
ティーポット マダ 時を経て ー 三つ足(フラワーベース) 皿《白い月》 ー 花のうつわ ベアトリー・チェ&ベレニス 菓子鉢 グループ 無題 帆船、ナンバー1 無題 9個の標本物 苦闘する形態 織込花器 海底遺跡 モヒカン山 釉彩薄層のかたち(半球・1) 磁器 ライム 庭のドラマ 体操選手 vague 類 対角線・花器 彩磁練り上げ鉢 花器 パリエイション ひとつの形態から 生まれた12のパリエイション	ケント・ベンソン ビョートル＝スタニスラウ・コロマンスキー マニータ＝エリザベス・キーフ ミラン・コート 斎木俊秀 カティット・オミネン＝ニイットゥラ ドロシー・フェイブルマン 川上智子 アレッシオ・サッリ カリン＝ブラッハ・ニールセン セルジオ・グリオリ グレース・ニッケル ベテリス・マーティン・ソング 依田久仁夫 鴨頭みどり 中島晴美 トーマス・A・ホードレイ 須藤永子 井原義雄 長江重和 ボデイル・マンツ クリスティーナ・リスカ グズレル＝ガルトツイ・マーリア ヴィルマ・ヴィリヤベルデ Masanobu Ido+zenzan 内田ゆかり ヨハンナ・セッツラー アンゲラ・ブルクハルト＝ガリーニ ユン・ジュ Chol ガブリエル・ハイン	(財)岐阜県産業経済振興 センターTAKUMI工房事務所	「～国際陶磁器フェスティバル美濃 の歩み～デザインとアートの挑戦」	JR岐阜駅アクティブG3階 TAKUMI 工房・ワールドデザインギャラリー	2008.7.22～2008.8.10
「POTS」(ティーポット/グレー) 「POTS」(ティーポット/ホワイト) 「POTS」(コーヒーポット/グレー) 「POTS」(コーヒーポットL/ブラック) 「POTS」(コーヒーポットS/ホワイト) 「POTS」(コーヒーポットS/ブラック) 「POTS」(ショーユポット/ホワイト) 「POTS」(ショーユポット/グレー)	小松誠	東京国立近代美術館	「小松誠～デザイン+ユーモア」	東京国立近代美術館	2008.10.28～2008.12.21
花器 摩利耶 摩利耶	三輪休雪 三輪休雪	三輪休雪展実行委員会	「十二代三輪休雪展」	パル・三越エトワール 日本橋三越本店新館7Fギャラリー 福岡三越9F三越ギャラリー	2009.3.10～2009.5.9 2009.8.25～2009.9.6 2009.9.11～2009.9.16
灰釉青彩鳥文壺 陶方壺	河本五郎 河本五郎	愛知県陶磁資料館	「現代の陶芸～河本五郎とその時代～」	愛知県陶磁資料館	2009.4.4～2009.5.31
CATANA CUSA VI hexa	井戸真伸 井戸真伸 井戸真伸	多治見市文化工房ヴォイス	「陶磁器×デザイン」展	多治見市文化工房ギャラリーヴォイス	2009.2.14～2009.3.15
cornucopia99-IX cornucopia07-Y1	田嶋悦子 田嶋悦子	茨城県つくば美術館	「笹井史恵×田嶋悦子 ～イン・ザ・フラワー・ガーデン」展	茨城県つくば美術館	2009.10.9～2009.11.8

作品名	作家名	貸出先	展覧会名	会場	会期
白瓷埴面取壺	前田昭博	鳥取県立博物館/アートコートギャラリー	「前田昭博 白瓷の造形」	鳥取県立博物館 アートコートギャラリー	2009.11.21～2009.12.20 2010.1.9～2010.2.7
ティーセット	カジミール・マレーヴィチ	埼玉県立近代美術館/岡崎市美術館/山形美術館/株式会社アートインプレッション	「ロシアの夢 1917～1937」展	埼玉県立近代美術館	2009.10.10～2009.12.6
カップ&ソーサー	イリーナ・ロジェストヴェンスカヤ			岡崎市美術館	2010.1.30～2010.3.28
ティーポット	ニコライ・スエティン			山形美術館	2010.4.3～2010.5.9
「労働者クラブ」チェステーブル&チェア (2003年再制作 吉島忠男制作指導)	アレクサンドル・ロトチェンコ				
チェス・セット (2003年再制作 吉島忠男制作指導)	アレクサンドル・ロトチェンコ				
「労働者クラブ」のテーブル&チェア (2003年再制作 吉島忠男制作指導)	アレクサンドル・ロトチェンコ				
ティーセット (2003年制作 長谷川善一制作指導)	アレクサンドル・ロトチェンコ				
ポスター「全国民のドブリョト社」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
ワークスーツ「生産主義者の服」 (2003年再制作 森下あおい制作指導)	アレクサンドル・ロトチェンコ				
ワンピース (2003年再制作 森下あおい制作指導)	ヴァルヴァラ・ステパノヴァ				
写真「ロトチェンコとステパノヴァのワークショップにて」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
写真「ワークスーツを着たロトチェンコ」	ミハイール・カウフマン				
写真「ワークスーツを着た女性」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
写真「「タレーレンの死」の舞台用椅子の仕掛けを試すステパノヴァ」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
写真「ステパノヴァの二重露光のポートレート」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
写真「労働者クラブの読書テーブル&チェア」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
写真「労働者クラブの読書テーブル&チェアのマーケット」	アレクサンドル・ロトチェンコ				
ボトル(サックフォーム)	ハンス・コパー		「ハンス・コパー 20世紀陶芸の革新」	兵庫陶芸美術館	2009.9.12～2009.11.29
ポット(ティスルフォーム)	ハンス・コパー	兵庫陶芸美術館/滋賀県立陶芸の森/パナソニック電工 汐留ミュージアム/岩手県立美術館		滋賀県立陶芸の森	2010.3.13～2010.6.17
ポット(フルーテッドポット)	ルーシー・リー			パナソニック電工汐留ミュージアム	2010.6.26～2010.9.5
鉢	ルーシー・リー			(岐阜県現代陶芸美術館)	2010.9.18～2010.11.23
				岩手県立美術館	2010.12.4～2011.2.13

* 巡回展等の会期が前後の年度にわたる場合の会場も記載した。

08・09年度収蔵品

2008年度

*印は財団法人岐阜県美術振興会からの寄贈を示す。(安藤基金コレクション)

作家名	作品名	制作年	サイズ(h×w×d, cm)	収蔵品番号	受入種別
加藤五輔	染付花鳥図花瓶	1890年	46.3×23.0×23.0	H191001	購入
笹山忠保	赤い三つのかたち	2006年	140×510×570	H191092	購入
三島喜美代	Comic-07	1979～2007年		H191094	購入
アルドロンディーニ	静かなる英雄	1996年	39×112×50	H191096	購入
フェデリコ・ボナルディ	空中のレヴィヤタン	2000年	80×40×40	H191097	購入
マウロ・タムビエリ	海の彼方からの光	2003年	27×30×30	H191098	購入
アレッショ・タスカ	裂け目のある大きな球体B	2000年	90×90×90	H191099	購入
バーナード・リーチ	コーヒーポット	1960年	17.5×16.3×12	H201001	寄贈
デヴィッド・リーチ	急須		18.3×24.3×17.5	H201002	寄贈
デヴィッド・リーチ／ジェレミー・リーチ	鉢		12.3×16.5×16.5	H201003	寄贈
ジョン・リーチ	大鉢	2000年	15.6×23×23	H201004	寄贈
ジョン・リーチ	壺	2004年	19.6×12×12	H201005	寄贈
ジョン・リーチ	角皿	2001年	3.4×18.6×18.6	H201006	寄贈
井戸真伸	rencon	2007年		H202004	寄贈*
岡崎達也	pomme	2004年	10×7.5×7.1	H202005	寄贈*
岡崎達也	swing	2004年	6.8×5×5	H202006	寄贈*
岡崎達也	flora	2000年		H202007	寄贈*
岡崎達也	dot	2004年		H202008	寄贈*
岡崎達也	braille	2004年	4.5×4.5×4.5	H202009	寄贈*
岡崎達也	relax	2001年	6.5×5.2×5.2	H202010	寄贈*
岡崎達也	foam	2002年		H202011	寄贈*
カルロ・ザウリ	破潰された壺No.303	1976年	19×38×38	H202012	寄贈*
カルロス・カルレ	球体	1998年	60×60×60	H202013	寄贈*
ジョン・ベディング	扁壺	2008年	18.5×34×15.8	H202014	寄贈*
ジェイソン・ウェイソン	黒と金の壺	2008年	20.5×27×27	H202015	寄贈*
リーチ・ボタリー	スタンダードウェア ディッシュ(4点組 木製スタンド付き)	1955年		H202016	寄贈*
辻清明	信楽大瓶 銘「瓶の林」	1982年	79.5×16.0×14.2	H202017	寄贈
辻清明	信楽大瓶 銘「瓶の林」	1982年	70.5×15.5×15.0	H202018	寄贈
辻清明	信楽大瓶 銘「瓶の林」	1982年	69.5×16.8×16.8	H202019	寄贈
辻清明	信楽大瓶 銘「瓶の林」	1982年	63.2×14.5×14.5	H202020	寄贈
辻清明	信楽大瓶 銘「瓶の林」	1982年	61.0×14.5×14.5	H202021	寄贈
辻清明	伊賀羅漢花生	1989年	27.8×15.5×15.0	H202022	寄贈
辻清明	信楽自然釉茶盃	2006年	8.5×14.0×11.7	H202023	寄贈
辻清明	信楽徳利	2006年	13.8×10.0×10.0	H202024	寄贈
辻清明	信楽石目大丸盤	1982年	4.5×59.0×59.0	H202025	寄贈
辻清明	信楽帽子	1982年	12.1×27.5×26.8	H202026	寄贈
辻清明	聚楽刷毛目百合鉢	1993年	10.0×22.2×21.0	H202027	寄贈
辻清明	信楽金銀彩木葉皿	1992年	3.8×13.4×37.5	H202028	寄贈
辻清明	灰釉蝶文壺	1950年代	16.5×16.4×16.7	H202029	寄贈
辻清明	信楽合子	1970年頃	17.8×13.0×12.3	H202030	寄贈
辻清明	信楽盃	1985年	6.3×8.0×5.3	H202031	寄贈
辻清明	信楽徳利	1986年	16.0×12.4×12.4	H202032	寄贈
辻清明	信楽木葉鉢	1989年	11.0×25.5×20.5	H202033	寄贈
辻清明	絵唐津昌蒲文筒茶盃	1990年	10.1×13.5×13.5	H202034	寄贈
辻清明	絵唐津皿	1990年	10.5×35.8×35.8	H202035	寄贈
辻清明	信楽釘型掛花生	1991年	4.3×27.0×8.5	H202036	寄贈
辻清明	信楽BOOK	1993年	7.5×36.0×27.5	H202037	寄贈
辻清明	信楽BOOK	1993年	4.8×32.0×23.8	H202038	寄贈
辻清明	信楽耳付羅漢花生	1993年	26.8×14.5×13.8	H202039	寄贈
辻清明	信楽花生	1993年	24.3×11.5×11.5	H202040	寄贈
辻清明	信楽窯変盃	2006年	5.5×6.7×6.7	H202041	寄贈
辻清明	信楽茶盃	2006年	9.2×11.3×11.0	H202042	寄贈
辻清明	信楽無文丸板皿	2006年	3.5×23.0×23.0	H202043	寄贈
辻清明	信楽耳付水指	2006年	19.1×19.5×18.5	H202044	寄贈
鯉江良二	燗	1966年	71×11.7×12	H202045	寄贈
熊倉順吉	くろい女		49.5×24.8×11.0	H202046	寄贈
三島喜美代	リーフレット(追加ピース)	2008年		H202047	寄贈
森正洋	M型シリーズ	2005年		H202048	寄贈
阪本やすき	COMMO	2008年		H202049	寄贈
阪本やすき	LEAVES	2008年		H202050	寄贈
阪本やすき	S型ドレッシングポット	2008年		H202051	寄贈
阪本やすき	ゆるり	2008年		H202052	寄贈
阪本やすき	ティー土瓶	2008年		H202053	寄贈
阪本やすき	ペンギン	2008年		H202054	寄贈
阪本やすき	ミストホワイト	2008年		H202055	寄贈
阪本やすき	茶和	2008年		H202056	寄贈
リサ・ハモンド	中世風水差し(丹)	2008年		H202057	寄贈
リサ・ハモンド	中世風水差し(青)	2008年		H202058	寄贈
スヴェント・ペイヤー	壺	1997年		H202059	寄贈
ウェッジウッド	ティーセット	1891年		H202060	寄贈
美濃・瀬戸	銅版鳳凰桐唐草文デミタスセット	昭和初期後半頃		H202061	寄贈
太田貢	Lights 光・波	2008年		H202062	寄贈
黒河兼吉	SSS bottle	2008年		H202063	寄贈

作家名	作品名	制作年	サイズ(h×w×d, cm)	収蔵品番号	受入種別
櫻木綾子	自然探索	2008年		H202064	寄贈
徐永旭	2007-6	2008年		H202065	寄贈
青木拳	911	2008年		H202066	寄贈
中山保夫	転写紙(菊花御紋章入コーヒー碗皿およびフインカップ)	1990年		H202067	寄贈

2009年度

作家名	作品名	制作年	サイズ(h×w×d, cm)	収蔵品番号	受入種別
杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間(ヒマワリの花)	2007年	35×65×64	H202001	寄贈*
杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間(ヒマワリの種子)	2007年	25×53×52	H202002	寄贈*
杉浦康益	ひまわり3部作-うつりゆく時間(ヒマワリの朽ちた殻)	2007年	16×45×40	H202003	寄贈*
三原研	杉生文鉢	1989年	13.3×45.0×45.0	H211001	寄贈
五代加藤幸兵衛	鉄絵草花文花瓶	1930年代	23.4×25.0×25.0	H211002	寄贈
田嶋悦子	テンプ・テイ・ション	1982年	66.0×55.0×55.0	H211003	寄贈
田嶋悦子	6ウーマン	1982年	40.0×150.0×150.0	H211004	寄贈
田嶋悦子	ヒップガーデン“ブリブリ”	1986年	230×60×60(床・壁・パーツあり)	H211005	寄贈
田嶋悦子	ヒップガーデン“アバカバール”	1986年	300.0×120.0×100.0	H211006	寄贈
田嶋悦子	ヒップガーデン“アバカバール”	1986年	300.0×120.0×100.0	H211007	寄贈
田嶋悦子	ヒップガーデン“アバカバール”	1986年	300.0×120.0×100.0	H211008	寄贈
田嶋悦子	ヒップガーデン“ボタニカル”	1987年	180.0×120.0×120.0	H211009	寄贈
田嶋悦子	ヒップ・アイランド	1987年	240.0×245.0×240.0	H2110010	寄贈
田嶋悦子	ボタニカル	1988年	35.0×40.0×40.0	H2110011	寄贈
田嶋悦子	フロー・No2	1988年	100.0×130.0×60.0	H2110012	寄贈
田嶋悦子	フロー・エイジ	1989年	70.0×80.0×38.0	H2110013	寄贈
田嶋悦子	スワール	1989年	60.0×60.0×20.0	H2110014	寄贈
田嶋悦子	フローラルNo2	1990年	80.0×75.0×65.0	H2110015	寄贈
田嶋悦子	ボタニカルI	1990年	70.0×70.0×35.0	H2110016	寄贈
田嶋悦子	ボタニカルII	1990年	60.0×70.0×30.0	H2110017	寄贈
田嶋悦子	ボタニカルIII	1990年	75.0×65.0×40.0	H2110018	寄贈
田嶋悦子	ボタニカルIV	1990年	50.0×50.0×30.0	H2110019	寄贈
田嶋悦子	ジュラの幻想	1990年	180.0×270.0×180.0	H2110020	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(ハート印)	1994年	55.0×63.0×62.0	H2110021	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(十字花印)	1994年	50.0×55.0×50.0	H2110022	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(横三つ印)	1994年	48.0×125.0×33.0	H2110023	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(◇印)	1994年	162.0×33.0×35.0	H2110024	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(縦〇二つ印)	1994年	159.0×35.0×35.0	H2110025	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(木の実印)	1994年	31.0×36.0×36.0	H2110026	寄贈
田嶋悦子	サンクチュアリ(三ツ印)	1994年	86.0×65.0×65.0	H2110027	寄贈
田嶋悦子	コルヌコピア03-II	2003年	49.0×107.0×42.0	H2110028	寄贈
田嶋悦子	コルヌコピア06-ティカカズラ	2006年	89.0×68.0×82.0	H2110029	寄贈
田嶋悦子	コルヌコピア08-I	2008年	78.0×98.0×70.0	H2110030	寄贈
ユンドン ナム	種	1989年	27.0×14.0×13.0, 28.9×14.3×8.0	H2110031	寄贈
ユンドン ナム	無題	1989年	64.0×15.5×14.5, 64.0×15.5×8.0	H2110032	寄贈
ユンドン ナム	無題	1989年	52.0×14.0×12.0, 他 (計21個)	H2110033	寄贈

08・09年度収蔵図書

		一般図書	図録	雑誌(定期刊行物、年報など)	計
2008年度	寄贈	280	485	625	1390
	購入	70	6	146	222
2009年度	寄贈	125	282	348	755
	購入	56	3	103	162

入館者数一覧

▶ 月別観覧者数

年度	月	開館日数	観覧者数		観覧者内訳①		観覧者内訳②		
			総数	日平均	有 料	無 料	企画展	常設展	特別展
20	4	23	844	37	584	260	580	264	
	5	27	2,576	95	1,573	1,003	2,536	40	
	6	25	966	39	778	188	263	703	
	7	19	2,123	112	1,383	740	1,951	172	
	8	31	8,232	266	5,582	2,650	8,018	214	
	9	30	12,562	419	7,137	5,425	12,341	221	
	10	27	934	35	831	103	0	934	
	11	26	1,402	54	710	692	0	1,402	1,385
	12	24	551	23	430	121	0	551	501
	1	24	652	27	525	127	0	652	
	2	24	907	38	706	201	0	907	
	3	26	1,055	41	885	170	0	1,055	
計		306	32,804	107	21,124	11,680	25,689	7,115	
21	4	26	848	33	728	120	0	848	
	5	27	1,911	71	1,485	426	0	1,911	
	6	24	1,470	61	1,109	361	0	1,470	
	7	18	799	44	637	162	0	799	1,267
	8	26	2,006	77	1,464	542	0	2,006	
	9	26	1,405	54	1,190	215	0	1,405	
	10	27	3,546	131	2,407	1,139	3,451	95	
	11	25	5,553	222	2,659	2,894	5,416	137	
	12	24	4,061	169	2,516	1,545	3,983	78	
	1	24	369	15	322	47	0	369	
	2	24	554	23	423	131	0	554	
	3	24	732	31	677	55	0	732	
計		295	23,254	79	15,617	7,637	12,850	10,404	

▶ 企画展別の入館者数

※()は有料入館者			
年度	展覧会名	会 期	観覧者数
20	「イタリアの現代陶芸の巨匠 「カルロ・ザウリ」展	2008.4.19～6.1	3,379人 (2,047人)
	「創立250周年記念 ウェッジウッド」展	2008.7.19～9.30	22,310人 (13,546人)
21	「川喜田半泥子のすべて」	2009.10.3～2009.12.23	12,850人 (7,324人)

教育・普及活動

1. 教育普及セミナー

■文化の日スペシャル

文化の日にちなみ、作家や作品に親しみを感じていただけるよう館長によるスペシャルトークを行った。

開催日：2009年11月3日

参加者：約30名

2. こどもワークショップ

中学生・高校生を対象とした作陶体験教室。収蔵作家を講師として招き、作家作品を鑑賞。解説を聞いた後、作家の指導のもとで作陶する。制作した作品は、思春期のカタチ展で作家の作品とともに展示。

■土でつくる心のカタチ2008ー作家とともに行う、みて、つくる体験教室ー

森野彰人教室

開催日：2008年7月26日(土)～27日(日) 午前10時～午後3時

内容：土を植物や建物などに押しつけ形を写し取るなど、模様を描くことをとおして、自分の形を生み出す。

参加者：8名

●大地のこどもたち（ワークショップ作品展示）

日時：2008年11月15日(土)～12月14日(日)

場所：ギャラリーⅡ

■土でつくる心のカタチ2009ー作家とともに行う、みて、つくる体験教室ー

小塩薫教室

日時：2009年8月8日(土)～9日(日) 午前10時～午後3時

内容：磁器粘土を使用し、さまざまな物を利用した印花模様を描き、生活に温もりを与えるランプシェードをつくる。

参加者：9名

●思春期のカタチ2009（ワークショップ作品展）

日時：2009年11月10日(火)～12月13日(日)

場所：ギャラリーⅡ 展示室C



3. オリジナルソフト

美術館ロビーにおいて、陶磁文化に関する情報（過去に当館で制作したオリジナルソフト）を来館者に提供。

〔人 と 作 品〕 荒木高子 加藤卓男 徳田八十吉 富本憲吉 藤平伸 三輪休雪 森正洋 森野泰明
柳原睦夫 山田光 バーナード・リーチ 三島喜美代 金子潤 鈴木藏

〔技 と 素 材〕 美濃の職人による陶芸技法記録

〔イベント記録〕 「世界陶磁器エキスポ2001(韓国)」 「現代陶芸の100年」 「デザインとアートの挑戦」
「ヨーロッパの名窯」

4. ギャラリートーク

■学芸員による展示解説（ギャラリーⅠ）

展示作品についての解説を、毎日曜日の午後 1 時半より、学芸員が交代で実施。
2008 年度 43 回
2009 年度 35 回

■ボランティアによるギャラリートーク（ギャラリーⅡ）

ボランティアによる対話式ギャラリートークを、毎週日曜日の午後 3 時半より実施。
2008 年度 48 回
2009 年度 42 回

■事前申込の団体への解説

事前申込にて解説希望のあった団体に対して、随時学芸員による解説を実施。
2008 年度 38 団体
2009 年度 37 団体

5. 学校・地域との連携

(1)鑑賞学習・調査活動

学校の図工・美術科の鑑賞学習における鑑賞マナーの説明や作品解説、総合的な学習の時間や社会見学における作陶体験や調査活動への協力を行った。

年度	校種	大学	高等学校	中学校	小学校	特別支援学校・他
2008年度	団体数	4	6	8	0	2
	人 数	158	522	198	0	20
2009年度	団体数	8	3	2	8	1
	人 数	289	248	33	342	14

(2)出張授業・研修

学校に赴き、やきものに関する授業のサポートや、職員の研修を行った。

●2008年度

●2009年度

6 / 5 … 土岐市立肥田小学校・学年における土作品制作の職員研修
10 / 7 … 県美術館におけるセンター研修
11 / 12 … 当館におけるセンター研修

(3)職場体験学習

美術館を中心に施設全体を活用して職場体験学習に協力した。

年度	校種	高等学校	中学校	その他[教員]
2008年度	件 数	1	1	0
	人 数	6	2	0
2009年度	件 数	1	2	1
	人 数	4	8	1



(4)学校職員との連携

学校教育や社会教育にかかわる研究会や鑑賞・陶芸実技講習などに協力した。また、美術館と学校職員とが共同で企画・運営する大地のこどもたち展について協議した。

年度	校種	教職員研修会	学校研修会
2008年度	件 数	0	0
	人 数	0	0
2009年度	件 数	2	1
	人 数	11	20

■大地のこどもたち2008 開催委員会

会場：セラミックパークMINO 2F 会議室

①2006年10月14日 第1回開催委員会 教員8名

内容：趣旨説明、テーマについて検討

②2007年3月4日 第2回開催委員会 教員6名

内容：募集要項について検討

③2007年11月25日 第3回開催委員会 教員6名

内容：授賞や日程について検討、岐阜県教育委員会の標記、関連企画の検討

④2009年2月8日 第4回開催委員会 教員4名

内容：展覧会の総括

(5)博物館実習

博物館学芸員資格取得のための実習生の受け入れに協力した。

実習内容：美術館の役割及び施設と機能、収集・保存、企画展とその立案、
広報、教育普及、ボランティア活動、情報化、学校との連携、
ワークショップ実施体験、成果発表



●2008年度

実 施 期 間：7月24日(木)～7月30日(水)

実習参加大学：東北芸術工科大学、金沢美術工芸大学、信州大学、名古屋芸術大学（4校、5名）

●2009年度

実 施 期 間：8月6日(木)～8月12日(水)

実習参加大学：静岡大学、愛知大学、名古屋芸術大学、名古屋造形芸術大学、沖縄県立芸術大学（5校、5名）

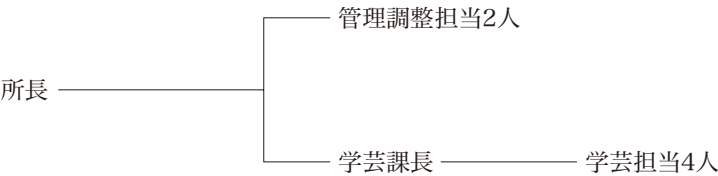
(6)地域との連携

陶芸に関する展示活動や生涯学習の企画、研究団体の研修などに協力した。

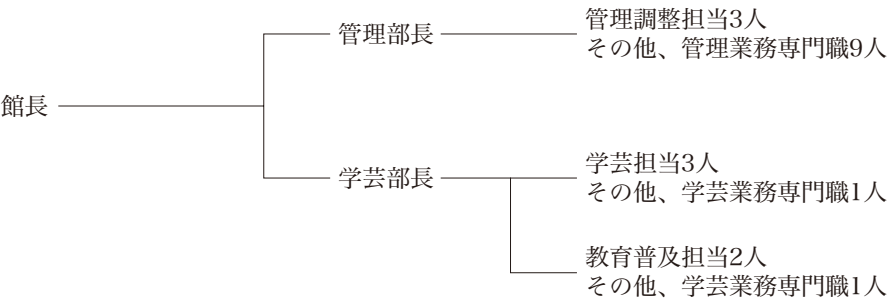
館の概要

▶組織及び構成

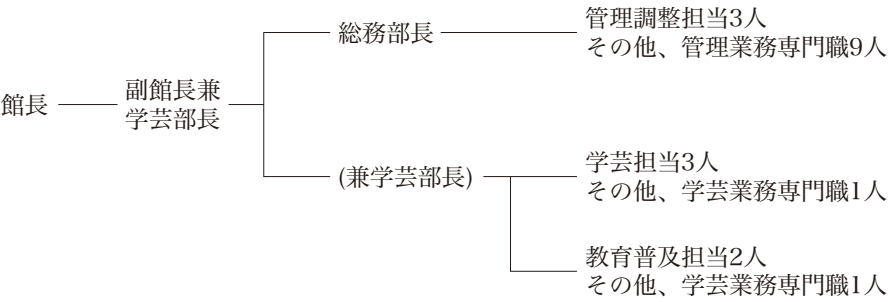
開設準備事務所(2002年6月末まで)



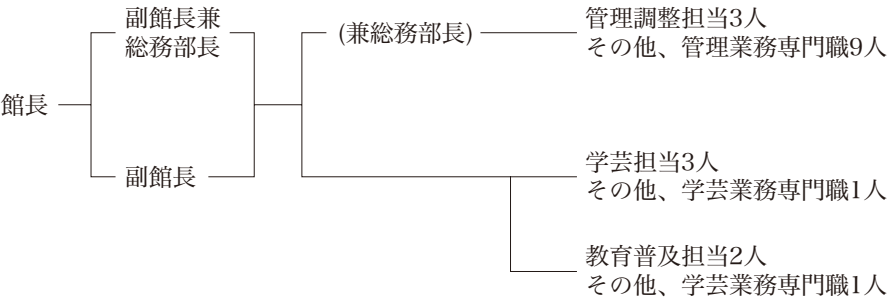
現代陶芸美術館(2002年7月－2006年度)



現代陶芸美術館(2007年度－2008年度)



現代陶芸美術館(2009年度－)



▶岐阜県現代陶芸美術館
協議会委員

(2003年1月ー)

加藤明子	南楽窯マルホンすりばち館館長
加藤孝造	岐阜県重要無形文化財保持者美濃陶芸協会名誉会長
加藤幸兵衛	美濃陶芸協会会長
金森昭夫	中日新聞社岐阜支社長
鯉江良二	国際陶芸アカデミー会員
酒井和行	NHK岐阜放送局長
西寺雅也	多治見市長
宮地吾郎	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会長
山岡浜三郎	オースタット国際ホテル多治見総支配人
大松節子	大松美術館長裏千家淡交会特別顧問
川上智子	日本陶磁協会岐阜県支部事務局長
植原雅美	(有)彩都代表取締役
吉島忠男	国指定重要文化財吉島家住宅館主
土田恭子	岐阜県小中学校教育研究会小学校図画工作科部会副会長
水野正遠	東濃地区図工美術教育研究協議会長

(2005年2月ー)

加藤明子	南楽窯マルホンすりばち館館長
加藤孝造	岐阜県重要無形文化財保持者美濃陶芸協会名誉会長
加藤幸兵衛	美濃陶芸協会会長
金森昭夫	中日新聞社岐阜支社長
鯉江良二	国際陶芸アカデミー会員
堤俊行	NHK岐阜放送局長
西寺雅也	多治見市長
宮地吾郎	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会長
山岡浜三郎	オースタット国際ホテル多治見総支配人
大松節子	大松美術館長裏千家淡交会特別顧問
川上智子	日本陶磁協会岐阜県支部事務局長
植原雅美	(有)彩都代表取締役
吉島忠男	国指定重要文化財吉島家住宅館主
土田恭子	岐阜県小中学校教育研究会小学校図画工作科部会副会長
水野正遠	東濃地区図工美術教育研究協議会長

(2007年6月ー)

加藤明子	南楽窯マルホンすりばち館館長
加藤孝造	岐阜県重要無形文化財保持者美濃陶芸協会名誉会長
加藤幸兵衛	美濃陶芸協会会長
金森昭夫	中日新聞社岐阜支社長
鯉江良二	国際陶芸アカデミー会員
遠藤景子	NHK岐阜放送局長
古川雅典	多治見市長
加藤愛之輔	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会長
小倉智明	オースタット国際ホテル多治見総支配人
大松節子	大松美術館長裏千家淡交会特別顧問
川上智子	日本陶磁協会岐阜県支部事務局長
田代久美子	(財)伊藤青少年育成奨学会常務理事
今枝寛彦	(財)セラミックパーク美濃専務理事
安藤恭子	岐阜県小学校図画工作科部会長
水野正遠	東濃地区図工美術教育研究協議会長

▶ 岐阜県現代陶芸美術館
収蔵品選定評価委員

(2009年6月ー)

加藤明子	南楽窯マルホンすりばち館館長
加藤孝造	岐阜県重要無形文化財保持者美濃陶芸協会名誉会長
加藤幸兵衛	美濃陶芸協会会長
片田知行	中日新聞社岐阜支社長
鯉江良二	国際陶芸アカデミー会員
砂押宏行	NHK岐阜放送局長
古川雅典	多治見市長
加藤半一郎	岐阜県陶磁器工業協同組合連合会理事長
大松節子	大松美術館長裏千家淡交会特別顧問
川上智子	日本陶磁協会岐阜県支部事務局長
田代久美子	(財)伊藤青少年育成奨学会常務理事
籠橋健治	(財)セラミックパーク美濃事務局長
岡田貴子	岐阜県小学校図画工作科部会副会長
加藤幸彦	東濃地区図工美術教育研究協議会長
佐藤祥子	多治見市PTA連合会副会長兼母親委員長

(2002年10月まで)

長谷部満彦	元東京国立近代美術館工芸館工芸課長、茨城県陶芸美術館長
金子賢治	東京国立近代美術館工芸課長
服部文孝	瀬戸市市長公室文化振興課文化企画係長
唐澤昌宏	愛知県陶磁資料館学芸員
河村宏三郎	多治見市環境経済部長
加藤智子	多治見市商工会議所副会頭
杉山幹夫	岐阜県文化懇談会座長、岐阜県芸術文化会議名誉顧問、 岐阜県美術館協議会会長代理
平光明彦	岐阜県美術館長

(2003年3月ー)※役職は2013年3月現在

金子賢治	茨城県陶芸美術館長
白石和巳	山梨県立美術館長
外館和子	美術評論家
草野満代	草野事務所代表取締役（アナウンサー）
杉山幹夫	岐阜新聞・岐阜放送取締役会長

▶ 職員の動静

(2002年－2009年)

02.4	開設準備室 所 長	堀 田 時 男	管理調整主査	肥 田 耕 作
	管理調整主査	三 宅 克 典	学 芸 課 長	渡 部 誠 一
	学芸課主査	不 動 美 里	学芸課主任	高 満 津 子
	学芸課主事	佐 野 素 子	学芸課主事	岩井美恵子
02.7	美術館に改組 館 長	榎 本 徹	転入	
	管 理 部 長	堀 田 時 男		
02.10	管理調整主任	安藤さおり	転入	
	学芸部長心得	渡 部 誠 一		
03.4	学芸部課長補佐	岩 井 利 美	転入	
	学 芸 部 長	渡 部 誠 一	学芸部主任	佐 野 素 子
	学芸部主任	岩井美恵子		
04.3	管 理 部 長	堀 田 時 男	転出	
04.4	管 理 部 長	高 田 忍	転入	
04.5	学芸部主査	不 動 美 里	退職	
05.2	学芸部主事	村 山 閑	配属	
05.3	管理部課長補佐	肥 田 耕 作	転出	
	管理部主任	松井さおり	転出	
05.4	管理部主査	日 野 利 明	転入	
	管理部主任	三 浦 薫	転入	
06.3	管理部主査	三 宅 克 典	転出	
	学芸部課長補佐	岩 井 利 美	転出	
06.4	管理部を総務部へ名称改変			
	総務部主査	山 田 徳 泰	転入	
	学芸部主査	加 納 礼 爾	転入	
07.3	総 務 部 長	高 田 忍	転出	
	総務部主査	山 田 徳 泰	転出	
	総務部主任	三 浦 薫	転出	
07.4	総 務 部 長	浅 井 広 明	転入	
	総務部主査	永 瀬 雅 彦	転入	
	総務部主任	間 宮 和 美	転入	
08.3	総務部主査	日 野 利 明	転出	
	学芸部主査	高 満 津 子	退職	
08.4	総務部課長補佐	桐 山 聖 和	転入	
09.3	総 務 部 長	浅 井 広 明	転出	
	学芸部課長補佐	加 納 礼 爾	転出	
	学芸部主任	岩井美恵子	退職	
09.4	副館長兼総務部長	野 口 昌 良	転入	
	学芸部課長補佐	小 栗 祥 吾	転入	
	学芸部主査	立 花 昭	配属	
10.3	総務部課長補佐	桐 山 聖 和	転出	
	総務部主査	永 瀬 雅 彦	転出	
	学芸部主任	佐 野 素 子	転出	

▶活動方針

陶芸の現代とは何かを基本とし、新しい価値を創造し提案する。

国際的視野に立ち内外の作品紹介と人的ネットワークの構築を図り、美術館の枠を超えて地域と連携するなど広い視野を持ち、多様な情報や体験を通じて楽しく陶芸に接することができる美術館活動を目指す。

▶活動内容

①収集活動

- ・陶芸の現代をテーマとして、収集対象を国内外、近現代(19世紀以降)に絞る。
- ・世界の個人作家の陶芸作品を収集する。
- ・これまでの美術館の収集対象となりにくかった、実用陶磁器などを再評価し、収集する。
- ・地域の窯業振興に資するという視点から、モダンデザインの系譜としての産業陶磁器を、またマイセン、セーブル、ローゼンタールなどの名窯の産業陶磁器も収集する。

②展示活動

- ・ギャラリーⅠでは巡回展、特別展などの大型企画展示を、ギャラリーⅡにおいては収蔵品を中心とした展示室ごとの小企画展を開催する。
- ・展示替えは休館日に行い、年間を通して鑑賞できるようにする。

③教育普及活動

- ・デジタルフォト・ライブラリーにおいては、陶磁器文化に関する優れた情報を来館者に提供するべく、オリジナルソフト制作を行っている。来館者にオリジナルソフトのプログラムを提供し、展示とは異なる多彩な角度から収蔵品を紹介し、作品の理解を助け、陶芸文化への多様な糸口を与えることを目的とする。また、資料価値の高い情報をオリジナルソフトとして集積することにより、世界の陶磁器文化の情報集積と発信の拠点としての美術館活動を実現する。ソフトの内容は「人と作品」「技と素材」「展覧会・イベント」「特別企画」の4つのテーマを設けて、漸次各プログラムの充実を図る。平成15年度まで「人と作品」11作家、「技と素材」15作品、「展覧会・イベント」3作品、「特別企画」1作品を制作している。「意図と作品」「展覧会・イベント」に関しては日英のバイリンガルで整備している。
- ・プロジェクトルームにおいては、美術館を身近に親しんでもらうための教育普及セミナーを開催したり、教育関係者の会議や研究発表にも解放している。
- ・来館者の平均年齢は高いうえ、地域には陶磁器産業に従事する人々が多く、専門的な知識を有する人たちが多く。そこで、特に大人を対象とした専門性の高いセミナーを開催することで、学校ではできない美術館教育のあり方を探る。その他、複合施設という利点を活かし、茶室、作陶館などを利用した、体験型、実践的なアプローチからの鑑賞促進を目的とした普及活動を行う。

施設概要

▶ 施 設

名 称	面 積(㎡)	床 材	壁 材	天井高(mm)
展示ホール	2,236.71	合成樹脂系塗装	打放しPC板	9,000／4,500
国際会議場	419.62	フローリング(ナラ)	ホワイトオーク	4,800
イベントホール	167.73	タフテッドカーペット	ホワイトオーク	3,600
小会議場	84.15	タフテッドカーペット	AEP塗装	3,600
作陶館	239.09	タイル	AEP塗装	5,600
茶室小間	12.01	畳	土壁	1,970
茶室広間	32.8	畳	和紙貼り	2,700
展示室1	128.28	フローリング(ナラ)	AEP塗装	4,100
展示室2	34.5	フローリング(ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室3	76.73	フローリング(ナラ)	AEP塗装	3,600
展示室4	34.56	フローリング(ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室5	180	フローリング(ナラ)	AEP塗装	4,100
展示室6	34.56	フローリング(ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室7	83.27	フローリング(ナラ)	AEP塗装	3,600
展示室8	34.56	フローリング(ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室9	128.82	フローリング(ナラ)	AEP塗装	4,100
展示室10	25.92	フローリング(ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室11	115.83	フローリング(ナラ)	AEP塗装	4,100
展示室A	142.58	フローリング(ナラ)	AEP塗装	3,025／9,000／4,800
展示室B	109.55	フローリング(ナラ)	AEP塗装	4,200
展示室C	66.82	フローリング(ナラ)	AEP塗装	2,700
展示室D	122.43	フローリング(ナラ)	AEP塗装	6,300／11,715
収蔵庫A	403.27	フローリング(ナラ)	AEP塗装	3,600／6,000
収蔵庫B	96.94	フローリング(ナラ)	県内産杉板素地	3,000

▶ 建 築

所在地	岐阜県多治見市東町4丁目2番地5
設計監理	岐阜県基盤整備部公共建築課 株式会社磯崎新アトリエ・熊谷建築設計室 設計共同企業体
建築	東急・鴻池・岐建特定建設工事共同企業体
電気	松本・ミリオン特定建設工事共同企業体
機械	日比谷・安田・ダイワ特定工事共同企業体
総事業費	約130億円
敷地面積	173,132.55㎡
建築面積	7,954.65㎡
延べ床面積	14,459.23㎡
階数	本館棟 地上3階、地下1階 ロジシア棟(茶室) 1階 作陶館 1階 展望台 2階
構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨コンクリート造
工事期間	平成10年10月～平成14年7月
駐車場	一般 312台 大型バス 3台 身障者優先駐車スペース 4台

▶ 設 備

電気設備		
電気受容契約	受電電圧	6.6KV
契約種別	業務用電力	500KW
深夜電力	氷蓄熱ヒートポンプチャラー	6KV200KW
	深夜動力	210V75KVA
変圧器	1Φ300KVA	3台
	1Φ50KVA	1台
	3Φ500KVA	2台
	3Φ75KVA	1台
進相用電力コンデンサー		6KV 424KVar 4台
避雷器	8.4KV 2.5KA	3台
非常用自家発電装置	3Φ3W220V450KVA	
直流電源装置	用途	非常照明
	容量	300Ah(54セル)
	出力電圧	108V
太陽光発電装置	連係する電力系統 低圧一般配電線	1Φ3W200/100V
	設備容量 太陽電池	6.96KW相当
	インバーター	8.8KW相当

空調設備		
氷蓄熱ヒートポンプスクルーチャラー		
製氷能力		1100USRT×10h
暖房能力		410.46KW
吸収式冷温水機	冷凍能力	422KW
	暖房能力	556KW
空調調和機	エアエンドリングユニット	28台
	ファンコイルユニット	49台
	送・排風機	117台
	排煙設備	4台
	電気加湿器	35台

衛生設備		
給水設備	受水槽	22.5t(2槽)
	加圧給水ポンプ	65A×500l/min×45m×5.5KW
	排水設備	公共下水道

消火設備		
屋内消火ポンプ	150A×2200l/min×86m×55KW	
消火水槽	25t	
閉鎖型スプリンクラーヘッド	483個	
予作動型スプリンクラーヘッド	649個	
N2ボンベ	49本	
消火器(ABC粉)	78本	

昇降機		
EV1	油圧式	15人乗
EV2	油圧式	11人乗
EV3	油圧式	15人乗
EV4	油圧式	4人乗り
EV5	油圧式	荷物用(3,300kg)
ES1		5.5KW×2
ES2		5.5KW×2

防犯設備		
ITV監視装置(モニターカメラ)	46台	
防犯センサー(遠隔機械警備システム)	98台	

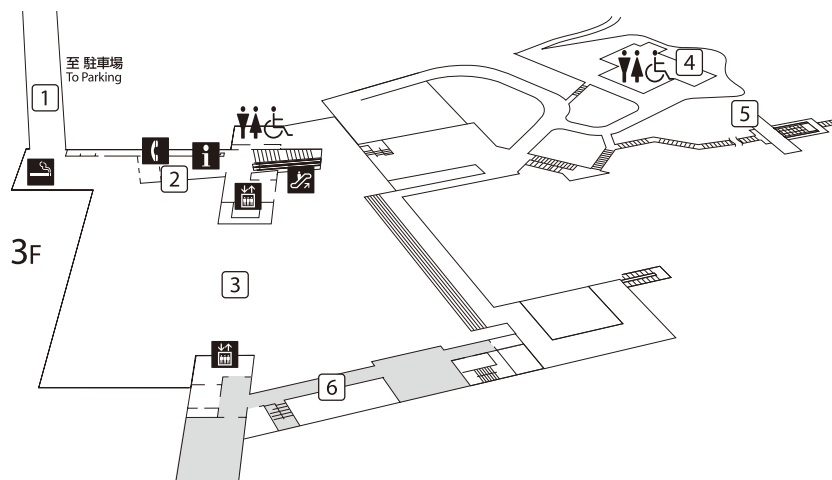
池循環濾過装置		
池延面積	2,206.9㎡	
カスケード循環ポンプ	80A×750l/min×25m×5.5KW	
池循環ポンプ	40A×240l/min×25m×2.2KW	
池循環濾過ポンプ	80A×1,200l/min×50m×15KW	

雨水再利用設備		
雨水再利用屋根面積	2,800㎡	
雑用水槽	158t	
雨水濾過装置処理能力	4.5t/h	

施設案内

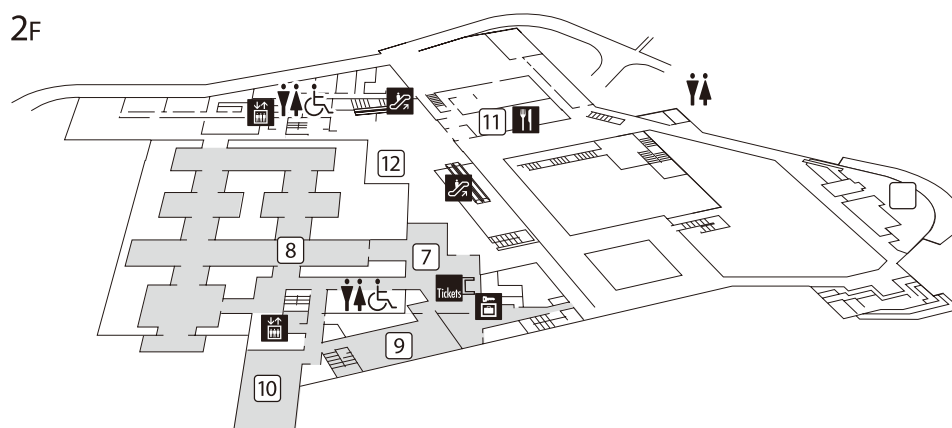


3F



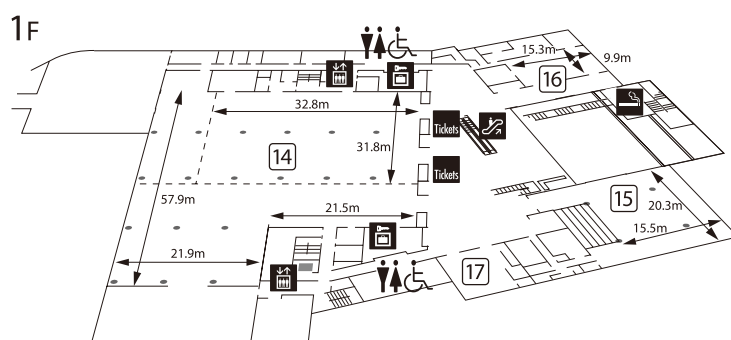
- ① ギャラリーウォーク
Gallerywalk
- ② エントランスホール
Entrance Hall
- ③ 屋上広場
Roof Plaza
- ④ 作陶館
Ceramic Atelier
- ⑤ 展望台
Observatory
- ⑥ 展示室Ⅱ
GalleryⅡ

2F



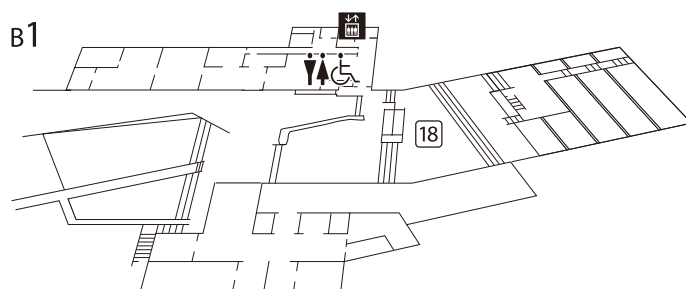
- ⑦ 美術館入口
Museum Entrance
観覧券売場
Tickets
ミュージアムショップ
Museum Shop
- ⑧ 展示室Ⅰ
GalleryⅠ
- ⑨ 展示室Ⅱ
GalleryⅡ
- ⑩ プロジェクトルーム
Workshop
- ⑪ レストラン
Restaurant
- ⑫ ショップ&ギャラリー
Shops
- ⑬ 茶室
Tea-Ceremony House

1F



- ⑭ 展示ホール
Exhibition Hall
観覧券売場
Tickets
- ⑮ 国際会議場
Conference Hall
- ⑯ イベントホール
Reception Hall
- ⑰ 小会議室
Meeting Room

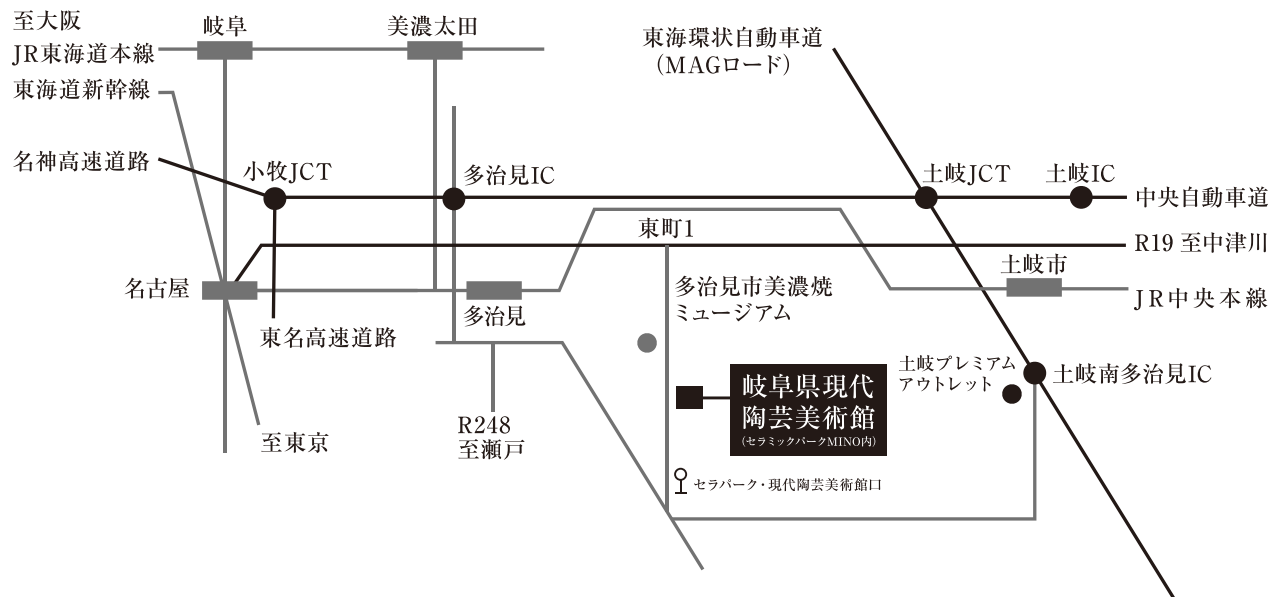
B1



- ⑱ カスケード広場
Cascade Plaza

- | | |
|----------------------|---------------------|
| トイレ
Toilet | エレベーター
Elevator |
| 観覧券／入場券売場
Tickets | 電話
Telephone |
| ロッカー
Locker | 喫煙所
Smoking Area |
| エスカレーター
Escalator | 案内
Information |

交通案内



電車

東京・大阪方面 名古屋駅でJR中央本線に乗り換え
名古屋～多治見 快速35分

JR中央本線多治見駅から

- ・タクシー 約10分
- ・多治見市コミュニティバス オリベルート 約25分
「セラミックパークMINO」下車(土・日・祝)
- ・東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木」行き
「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車 徒歩 約10分

車

東名高速道路・名神高速道路

小牧JCT経由 中央自動車道 多治見ICから
国道19号線を土岐・中津川方面に約5km、東町1の交差点を右折

東名高速道路

豊田JCT経由 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

利用案内

開 館 時 間	10:00～18:00(入館は17:30まで)
休 館 日	月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日) 年末・年始(12/29～翌年1/3)
観 覧 料	コレクション展 一 般 320円(団体260円) 大学生 210円(団体160円) 特 別 展 展覧会ごとに設定 *幼児・小・中・高校生は無料です。 *特別展開催時は特別展入場券でコレクション展も観覧できます。 *団体は20名以上となります。
住 所	〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5
電 話	0572-28-3100
F A X	0572-28-3101
H P	http://www.cpm-gifu.jp/museum/

岐阜県現代陶芸美術館 年報 第4号 08／09

2013年3月発行

[編集・発行]

岐阜県現代陶芸美術館

岐阜県多治見市東町 4－2－5

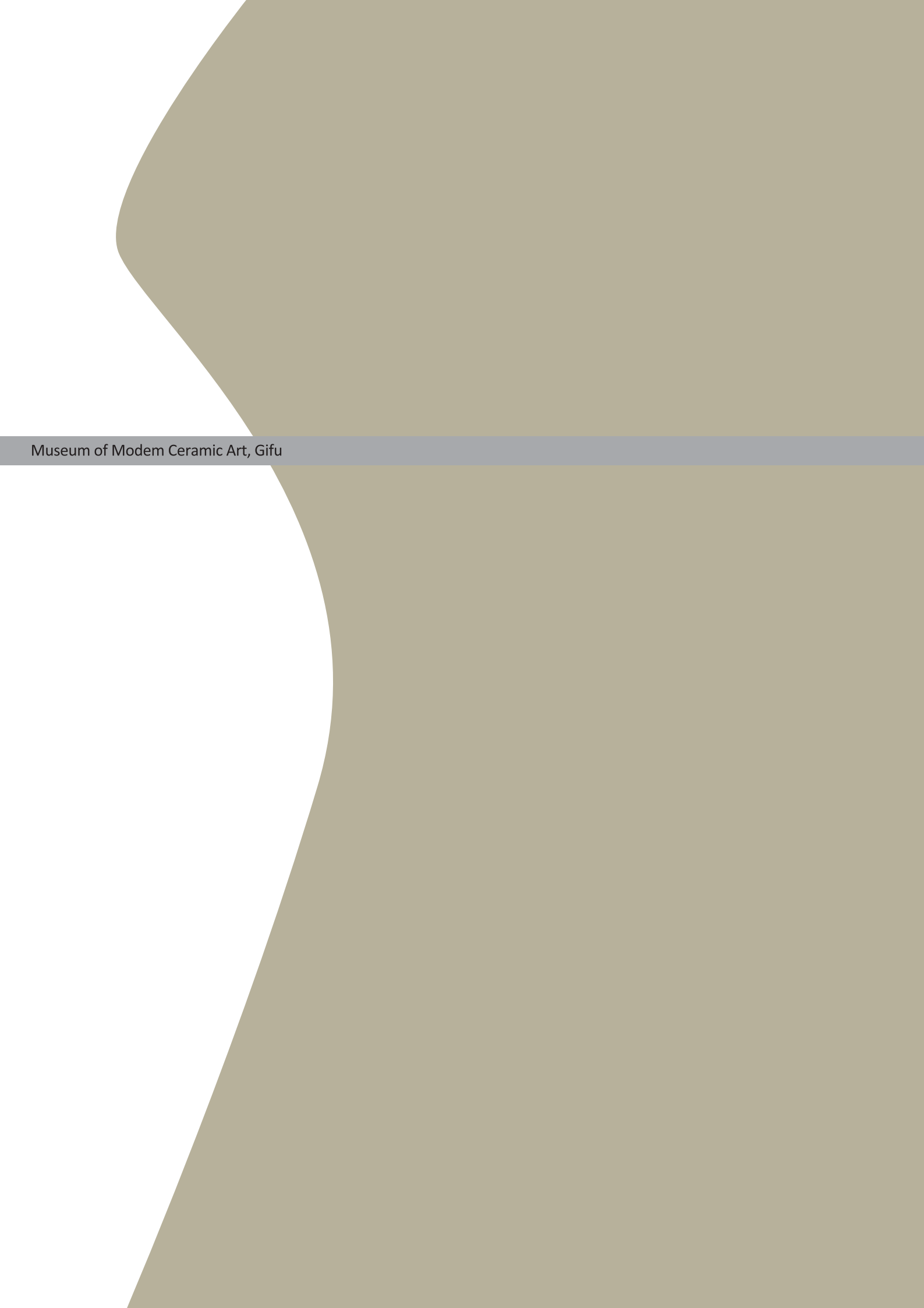
Annual Report Vol. 4 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

March, 2013

[Edited and Published by]

Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

4-2-5, Higashi-machi, Tajimi-shi, Gifu



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu